大正九年十二月四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　九月二十一日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓　郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三二〇〇　營業局專用(3)三三〇五
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

南京爆擊の通告に
米國は率先避難準備
ソ聯と英國のみは動かぬ肚

【上海廿日發國通】長谷川司令長官の避難勸告に對し南京にある諸外國各大使館の態度は、廿日夕刻まで大體左の如き狀態である

米國大使館は勸告に從ひ廿一日午前中に砲艦ルソン號に乘込み南京より十一哩揚子江を遡航するに決し同時に米國居留民も汽船で避難せしむべく考慮中で、ソ聯大使館は南京に踏止まるに決し當分は移轉の意思なく、英國大使館は何れにせよ我々は當分南京に止まるであらうといつてゐる、フランス大使館では本國政府からの回訓を待つてゐる、ドイツならびにイタリー大使館は廿日午後協議中で、廿一日朝までには兩者共同の態度を決定の筈である

南京空襲で四機擊墜

【上海廿日發國通】廿日の南京空襲においてわが軍の擊墜した敵機は四機なること判明した

張巷、莊家谷占領

【上海廿日發國通】川並部隊右翼は二十日午後一時頃行動を開始して張巷、莊家谷を占據、また左翼は天樂寺村を攻擊、交戰二時間にして占領した、この戰鬪において安藤部隊持田銀三軍曹は壯烈な戰死を遂げた、敵は死體多數を遺棄して潰走した

豪雨を衝いて大夜襲
淺間部隊、馬家宅占據
敵旅團司令部遂に潰滅す

【上海廿一日發國通】敵の堅陣を誇る淑里橋の要衝を突破した淺間部隊は、十七日午後四時折柄の豪雨を冒してさらに馬家宅の敵旅團司令部攻略を目指して進擊し夜に入るとともにわが〇砲の一齊掩護下に突如大夜襲戰を敢行した、狼狽した敵は算を亂して後方に退却を開始し交戰三時間にして午後七時半暗夜の馬家宅は遂に淺間部隊の有に歸したこの戰鬪においてわが市村、河西兩部隊長以下下士、兵二十名が壯烈な戰死を遂げた、敵の損害は遺棄せる死體のみで二百名を算してゐる、その他裝甲車、迫擊砲、重機關銃等多數の兵器、彈藥を鹵獲、敵旅團司令部所在地だけに軍用地圖その他敵の重要書類も多數押收した

事變寫眞　我軍に捕はれた便衣隊（陽高縣政府にて）と谷前堡警備の我步哨

今朝迄の各戰況

△平綏線方面　豐鎭を陷れた皇軍は綏遠軍唯一の退路殺虎口をも完全に占領した、又皇軍に共同作戰中の内蒙古軍も既に平地泉東北十五里の地點に進擊した、朔北の戰場には早くも降雪あり、萬里征衣の勇士の袖に霜は白い

△平漢、津浦線方面　涿州大會戰に敗れた三萬の敵は殆ど全滅し皇軍は既に徐水（保定北方約五里の地點）まで進擊した、又滄州西北地區に迫つた皇軍は一擊に津浦線滄州の要害を突破せん態勢を整へてゐる、平漢、津浦兩線中間區域の敵は皇軍の急追に遭ひながら南方に遁走中で河間の占據は一兩日中に迫つてゐる、かくて北支戰線に全面的に敗退した支那軍は平漢線保定において最後の抵抗を試みんとするものゝ如くである

△上海方面　上海北方戰線の著しき進展で江灣鎭の敵は完全に退路を斷たれ、必死の抵抗を續けてゐるが、その運命は目睫に迫つてゐる、南京の制空權を完全に握つた海軍の荒鷲部隊はさらに引續き南京ならびに附近の軍事施設を爆擊すべきを各國に通告した、首都南京の覆滅は一兩日中に迫つてゐる

平漢、津浦兩戰線
相呼應して進擊
徐水、滄州に肉薄

【天津廿一日發國通】平漢線の皇軍は破竹の勢物凄く廿日早くも徐水（保定北方約五里）近くの線に肉薄し、これに呼應して津浦線でも一段と活潑なる動きを見せ遂に滄州西北方に迫つて北支戰局の勝利體勢を維持しつゝ俄然躍進的發展を續けてゐる、すなはち廿日夕刻においては平漢線のわが部隊第一線は潰走する敵を猛追しつゝ午後五時半塘湖鎭（易水南方十粁）姚村、孤庄營（徐水の北方三粁）の線に進出確保し、最前線戰線の大部隊は今朝來猛烈な砲火を交へ敵を驅逐しつゝ張家頭に前進し八里庄の敵を攻擊し、夕刻に至り敵前約三百米の地點に達してこれを攻擊西南方に驅迫しつゝある

海軍監視の中心
南支那海に移る
見よ灼熱の海にこの努力

【軍艦〇〇にて廿日發國通】全支沿岸交通遮斷は帝國海軍精鋭の水も洩らさぬ監視網により着々實效を收め、今や中支沿岸洋上に支那船舶の片影をも認めず、監視の中心は南支海上に移つた觀がある、遮斷線は北は海州灣より南は海南島および北海まで延長實に千五百浬の海上でこの間炎熱なほ灼くが如き熱帶海面が大半を占め、海南の溫度百三十度に上騰し、時は既に南支航海の魔風たる北東貿易風の吹きまくる季節に入つたことでもあり、暗夜の海上に强風叫び激浪甲板を洗ふの有樣、この自然の暴威と闘ひつゝ支那船舶の遮斷線突破密航を阻止監視するわが〇〇海上部隊艦艇の勞苦は陸上での想像以上のものがあるが、麾下全將兵の士氣は極めて旺盛、砲身を撫して各自の任務を遂行し、全艦一體鮮かな有機的活動を續け敵性あるものはローカル船ともいふべき大型、小型のジャンクといへども假借なくこれが航行を抑止、抑留の斷乎たる措置に出づるとゝもに第三國船の航行と無辜の支那良民の生活に脅威を與へざるやう愼重を期しつゝ縱橫の活躍を續けてゐる

島田航空大編隊
敵後方陣地を攪亂

【〇〇根據地廿日發國通】數日來保定、石家庄の大爆擊を敢行したわが空軍部隊は、更に敵の退路を斷ち後方を攪亂すべく廿日午後二時半島田部隊〇〇機〇〇大編隊にて正定北方新營及びその附近の鐵橋を爆擊した、この爆擊は前日に引續き浮足立つた敵の退路を斷ち後方陣地攪亂に大成功を收めた

〇〇部隊主力
大清河右岸を出發

【牛莊（定興東南三里）廿一日發國通】去る十四日から一週間晝夜分たず泥濘の中を追擊敵の第一、第二、第三陣を完全に掃蕩した〇〇部隊主力は廿日正午大清河右岸を出發快晴に惠まれた敵なき道を一氣に進軍夕刻前に十里を突破し既に平漢線を壓してゐる、この日秋空は一點の雲もなく既に濕地帶を過ぎたゝめ徒步狀態もよく、馬隊の勇氣百倍意氣天を衝く概あり、村々の住民は既に皇軍の軍律に全幅の信賴を捧げ日章旗を揭げ湯茶を接待して皇軍將士の勞を犒ふなど和かな空氣が滿ちてゐる

徐水占領

【北平廿一日發國通】支那駐屯軍司令部廿一日午前十時發表＝平漢線を南下昨夕徐水北部に進出したわが部隊は同夜十時徐水を占領した

海州及び徐州を爆擊

【〇〇基地廿日發國通】第〇艦隊第〇戰隊〇〇機は海州および徐州の軍事營造物を徹底的に潰滅すべく廿日午後三時再び〇〇基地を勇躍出發し空爆を敢行、狼狽の極に達した敵はわが軍に猛射を浴せたが效果なく各地に火災を起せり、かくしてわが空爆軍は敵に多大の損害を與へ折柄の月明を銀翼に浴びつゝ無事歸還せり

西賈庄を爆擊

【〇〇根據地廿日發國通】廿日午前五時五十分中富部隊の笹尾、倉村兩部隊は未だ朝霧晴れやらぬ〇〇根據地出發、同六時五十分唐官屯西北廿キロにある西賈庄を爆擊した、多數の車輛を有する敵の大部隊がわが第一線と相對時してゐたが、わが空軍の猛烈な爆擊に粉碎され敵は大攪亂をうけたわが地上部隊はこれに乘じ同七時より總攻擊を開始し、滄州に向つて攻擊中である

平漢線の我部隊
保定に迫る

【天津廿日發國通】駐屯軍司令部午後八時發表
平漢線方面のわが部隊は敗退せる敵を急追し廿日夕刻徐水北側地區に進出せり（保定まで約五里の地點なり）

綏遠軍大部隊
退路を遮斷

【豐鎭廿日發國通】綏遠進擊の〇〇部隊は板倉、千田部隊長を先陣として平綏線に沿うて北上し、平地泉の要害に迫り、一方懷仁より西北方面に進擊中の長谷川部隊主力は、その快足を利用して十八日拂曉左翼の敵を攻擊し〇〇刻に亘る激戰を交へ同〇を完全に占領、更に逃走する敵を急追して二十日拂曉〇〇の要害を封鎖し豐鎭より〇〇軍および内蒙古軍の攻擊におそれをなし綏遠軍は大岳を續々太原方面に逃走を圖しつゝあつた綏遠軍大部隊の退路を完全に遮斷した

人事往來

滑京

▲片倉傳造氏（會社員）二十日來京ヤマトホテル
▲瀧口泰明氏（滿洲製糸）同國都ホテル
▲小早川健一氏（日滿商事）同
▲木村誠德氏（滿洲製糖）同
▲山口忠三氏（總局）同
▲野村虎雄氏（明電舎）同
▲大木傳氏（會社員）同
▲花村春三郎氏（滿洲工業）同
▲中田忠數氏（石炭商）同
▲林鮮一氏（滿鐵）同
▲山本酒造三郎氏（新京商事）同
▲森田康太郎氏（日滿商事）同
▲五十嵐大輔氏（滿鐵）同國際ホテル
▲水田政生氏（商業）同
▲香月吉治氏（三菱）同
▲上田作氏（吉林省公署科長）同
▲藤原源太郎氏（商業）同
▲佐々成氏（双城縣農事試驗場校長）同
▲金子政英氏（官吏）同
▲山本義氏（辯護士）同
▲岡健夫氏（銅材會社）同
▲和田昌氏（日本鋼管）同
▲原田辰雄氏（國際運輸）同
▲近藤元由氏（同）同
▲今井一郎氏（官吏）同
▲中地小平氏（北海道廳）同
▲大橋敏雄氏（官吏）同滿鐵旅館
▲鈴木伊八郎氏（同）同
▲小里嘉作氏（同）同
▲小川定吉氏（農業）同
▲坂本續氏（同）同愛國ホテル
▲小林與一氏（同）同
▲岩本軍男氏（營口商業銀行）同
▲中尾辨吉氏（ハルビン林務署）同
▲松永豊氏（北安鎭林務署）同新京ホテル
▲中尾正美氏（滿鐵）同富士屋
▲西義太郎氏（會社員）同

出發

▲八木元八氏　二十日安東へ
▲飯野伯重郎氏　同
▲大石義光氏　同牡丹江へ
▲小林雅夫氏　同
▲宮田富藏氏　同湯崗子へ
▲北田榮太郎氏　同大連へ
▲林藤江氏　同
▲牧一男氏　同
▲佐志雅雄氏　同

その日く

□時代映畫みたいに海賊船が漂つてゐたり、さすが支那だけの事はある
□そんな國情の上に軍政機構のみつくつても、死の舞踏の準備に過ぎまい
□南京より避難あるべし、この前觸れあつて人道的爆撃も稱すべきか
□第三國人どころか、國府要人の面々こそ逃避行とゆきからう
□愈よ近づく撤廢と移入先づ動いて歷史の新しい頁がつくられてゆく

產業文化の觸手
新義、白溫線〔新立屯…義縣間／南興安…溫泉間〕十月一日より本營業開始

鐵道總局發表

昭和十二年十月一日より新義線(新立屯—義縣間)ならびに白溫線(南興安—溫泉間)の旅客、手小荷物および貨物の運輸營業を開始す

新義線の概況 新義線は大鄭線新立屯驛と錦承線の義縣とを結ぶ遼西地區の一重要幹線で、延長百卅一粁五昭和十一年八月新立屯より軌道敷設工事に着手、同年九月海州驛に到着、同十一年假營業を開始し今回義縣までの工事完了と共に全線の本營業を開始するに至つたものである

同線は阜新炭田よりその積出港たる壺蘆島への運炭を主眼として敷設されたもので同線の全通は阜新炭田の開拓に一層の拍車をかけると共に沿線背後地の產業開發促進に多大の貢獻を齎すものとして期待される

東洋のザール阜新炭田

新義線全通を機會にその埋藏量四十億トン東洋のザールと稱せられる阜新炭田の概略を紹介しやう

阜新炭田は錦州省阜新縣および義縣に跨る東西七十粁南北八粁乃至廿粁の大炭田で埋藏量は現在調査地域だけでも十億トン、全炭田に亘つては約四十億トンと推定されてゐる、炭質は瀝青炭で撫順炭に遜色なく一般工業用、鐵道用、ならびに家庭用に最も適してゐる、昨年十月滿炭では同炭田の急速なる開發を企圖し阜新縣城に阜新鑛業所を設置、發掘ならびに採炭準備作業を開始、昨年度においては約十五萬トンを採炭したが昭和十二年以降の採炭計畫は(單位萬トン)

十二年度　一二〇
十三年度　二二〇
十四年度　三二〇
十五年度　四二〇
十六年度　五〇〇

となつてゐる、又阜新炭坑の現從業員は社員三百四十名、傭員二百名鑛夫、四千二百名であるが昭和十五年度においては社員千六百名傭員一千名、鑛夫三萬名と一大擴張をなす計畫である

而して同炭田は國内における他の炭田に比し開港場に最も接近した地域にある關係上、輸出炭としての最好條件に惠まれてゐる、即ちこれを撫順炭と比較するに距離において阜新炭の海州驛—壺蘆島港間百八十三粁に對し撫順炭は撫順驛—大連甘井子埠頭間四百廿八粁又右區間の運賃をみるに阜新炭は一車扱噸當り三圓三錢なるに對し撫順炭は四圓八十錢となつてをり、阜新炭が輸出炭としての如何に有望なるかを物語つてゐる

今次阜新線全通に伴ふ運炭經路、確立及び壺蘆島の發展と相俟つて同炭田の前途は實に洋々たるものがある

蒙古開發の動脈
白溫線とハロンアルシャン

白溫線の概況 白溫線は平齊線白城子に起つて大興安嶺を西北に走り溫泉地として名高いハロンアルシャンに至る延長三百卅八粁の鐵道である白城子、王爺廟間は事變前の建設にかゝり當時洮索線と呼ばれてゐたが事變後建設局が王爺廟以西の軌道敷設工事に着手、昭和十年十一月索倫までの本營業を開始して同時に白溫線と改稱翌十二年七月南興安までの本營業を行ひ今回ハロンアルシャン(溫泉)までの工事完了と共に全線の本營業を開始するに至つたものである

沿線の地形は王爺廟までは平地、王爺廟—索倫間は興安嶺の山地と平地の交錯地帶でそれ以西は純山岳地帶である、目下沿線一帶は開發工作は餘り進展しておらず經濟資源の如き殆んど未調査の狀態であるが今次白溫泉の全通は同方面の急速なる開發を促進すると共に西に接する未開原始的蒙古平原の開拓に大なる役割を演ずべく同線に課せられた使命も亦重大といはねばならぬ

神秘の泉郷 ハロンアルシャン

大興安嶺を西に越えた斜面、海拔五千呎の高原に幾多の神秘と傳説を秘めた溫泉郷—そこが白溫泉の終點ハロンアルシャンである、こゝには帝政時代に建てられたロシヤ式の建物が十四棟ほどありハロンアルシャンは北滿唯一の溫泉地遊覽地として古くから有名である

鐵道總局ではこの地を廣く天下に紹介すべく旅館、溫泉施設の完備、スキー場の開設等種々計畫を進めてゐるが白溫線の開通により同地が北滿隨一の一大遊覽地として君臨するのも遠い將來ではあるまい

新義、白溫線の列車運轉時刻

二十一日正式發表をみた新義線ならびに白溫線の列車運轉時刻は左の如くである

△新義線

下り混合第五七列車
大虎山始發　六時五〇分
新立屯着　七時二〇分
同　發
新邱着　九時一二分
同　發
海州着　九時五五分

下り混合第五九列車
東阜新發　七時〇五分
海州着　七時三〇分
海州發
義縣着　一〇時二〇分

上り混合第六〇列車
義縣發　一六時三〇分
海州着　一八時五〇分
同　發　一九時一〇分
東阜新着　一九時四三分

上り混合第五八列車
海州發　一三時〇五分
新邱着
新邱發　一三時〇一分
新立屯着　一四時〇六分
大虎山終着　一五時二五分

白溫線

下り混合第八四九列車
白城子始發
南興安着　二一時二〇分
南興安發　二一時二六分
溫泉着　二一時五五分

上り混合第八五〇列車
溫泉發　七時一〇分
南興安着　七時五五分
南興安發　八時〇〇分
白城子終着

【寫眞は白溫々泉】

ぐつと降つた氣溫

國都の氣溫は二十日夕刻より急激に低下し二十日午後十時十三度、二十一日午前二時九度二分、六時六度八分六時過ぎ最低五度九分とぐんぐん下り明方より少々恢復、十時には十五度二分に持ち返したが、この溫度の急變には殘暑に醉ふた國都の人々をして完全にふるひ上らしめた、尚滿洲の北西部には高氣壓、天津の附近に低氣壓があり漸次氣溫も上昇する筈である

緊張ぶりを見る
補充兵役召集演習 忠靈塔で鄕軍第二分會が

鄕軍新京聯合分會第二分會の補充兵役召集演習は二十一日午前六時から忠靈塔前で實施された

召集者百七十名の多數に達し人員點呼、東方遙拜、忠靈塔參拜、曉の秋空のもとにいとも嚴かに諸行事を運び宮木分會長は非常時局下に射擊大會、警備演習に引續いて召集演習を實施したが殆ど百パーセントの參加を得て欣快に耐へぬ、益々鄕軍本來の使命に向つて邁進されんことを切望するとの意味の挨拶を述べ次いで陸海軍次官から發せられた「鄕軍の覺悟」を代讀、七時に新京神社へ參拜して皇軍武運長久を祈つて同二十分解散した

禁衛討伐隊けふ凱旋す

本年三月以來東邊道の匪賊討伐に出動して赫々たる武勳をたてた禁衛隊步兵討伐隊は二十一日午後一時三十分着列車で凱旋、原隊に復歸した

福祉委員連滿鐵本社へ

滿鐵附屬地移讓後に於ける邦人の福祉施設として新京附屬地福祉委員會では鐵道北に約五萬圓を以て福祉會館を建設することになり滿鐵に對し補助申請中のところ種々の事情により一頓挫を來したところより福祉委員では過般これが對策に就き協議會を開いた結果滿鐵本社に到り協力陳情初期の目的を達成することゝなり代表者瀧竹三郎、淺井兩氏は二十日午後九時五十分の列車で赴連したがその結果により更り第二回、第三回と代表者を送り飽くまでも實現に邁進する模樣である

工場庶務課長

滿鐵鐵道工場庶務課長鈴木膺信氏は二十二日午前八時十分着列車で來京ヤマトホテルに投宿の豫定

大村副總裁

東京中の滿鐵副總裁大村卓一氏は二十一日午後二時十分發あじあで奉天に向つて離京した

坪上滿拓社長

坪上滿拓公社々長は二十一日午前十時發はとで公主嶺へ向ひ出發した

有賀課長來京

滿鐵總裁室庶務課長に就任した有賀庫吉氏は在京關係機關に新任挨拶のため二十一日午前八時十分の列車で來京二十二日歸社の豫定

あす(九月廿二日)

▲八島小學校慰靈祭、午後一時半
▲本社主催ハンデトーナメント庭球大會、中銀コート
▲臨時種痘施行、正午—午後四時、領警本署講堂

近日封切　豊樂劇場

こ奴!箱乗り
列車、驛の盜難頻々 競馬場で犯人捕縛

本年六月頃より新京驛待合室列車内等にて盜難被害頻々として屆出あり新京署井上刑事は爾來犯人の搜査につとめてゐたが、去る十九日刑事が競馬場警戒中場内を徘徊する擧動不審の男を發見誰何したところ矢庭に逃走せんとしたので有無を言はさず逮捕嚴重取調べの結果

右は奉天省淸陽縣大北關生れ、新京鐵道北散步營東市街四無職李樹亭(二七)で大正十五年以來前科十犯を有する竊盜常習犯で昨年八月奉天監獄を出獄した强か者、李は出獄後來京一定の職無く惡事を働いてゐたもので本年六月頃より新京驛待合室及列車内に於て見送り人或は乘客を裝ひ乘降客の隙を窺つて新發路大同會宮西村正子さん外九件被害二千圓に及び竊盜を働き阿片を吸飮した旨自白してゐたもので余罪多數ある見込み嚴重取調べ中である

徒步勵行し 派遣社員家庭を慰問
滿鐵社員會各分會で六日間克己デーを

滿鐵社員會では各分會毎にそれぞれ克己デーを實施して刻下非常時局の認識を深め皇軍將士並びに派遣社員の辛酸を頌つことに決したが新京驛(第八分會)では、二十三日から二十八日まで六日間克己デーとして同週間に得た節約金で派遣社員の留守宅を慰問することになり、左記諸行事を實施する

一、徒步通勤勵行
二、日の丸辨當勵行
三、節酒、節煙勵行

など本行事は家庭にも徹底實行せしめる

自衛團員殺し犯人を逮捕
小合隆克林潛伏中

去る八月二十八日午後十時三十分頃寬城子派出所管内東明街と孟家橋との交叉點に於て寬城子二西街居住自衛團員將立乾(三二)が擧動不審の男を檢問し其の場で射殺された事件があり首都警察搜査股では鋭意犯人搜査中であつたが二十日午後八時頃本廳より古賀巡官以下八名が長春縣小合隆克林甲幸科學宅に潛伏中の推定犯人本籍吉林省住所不定冀憲洲(二十二)を有無をいはさず取り押へモーゼル一ブローニング一、彈丸數十發を押收本廳に引上げ目下嚴重取調べ中である、搜査股では冀は元匪賊でもありその他の證據よりして大體犯人に間違ひはないと睨んでゐる

國都見學バス
廿一日盛況裡に終了

國都建設第一期完成を記念して交通會社と本社で催した國都見學バスは連日滿員の盛況で好評裡に二十一日終了した

公休日を働いて 官消從事員獻金
三百四十圓を本社へ寄託

「一人は萬人の爲に、萬人は一人の爲に」と云ふ相互扶助共存共榮の協同組合精神を振り翳して着々と其の基礎を固めてゐる滿洲國官吏消費組合では曩に馬糧草刈運動を率先して公休日に行ひ大いに各方面を刺戟したが今回又復中秋節の定休日を職員全體の申合せにより之を廢して出勤し當日に得た手當全部及特志寄附を合して金三百三十九圓七十六錢を國防恤兵獻金とすべく廿一日本社に寄託してきた、公休日に全員が働いた汗の結晶の事とて獻金の意義も一入深いと云ふべきである、本社では之を折半し百六十九圓八十八錢を關東軍司令部へ、百六十九圓八十八錢を駐滿海軍部へ獻納の手續きを執つた、尚同時に同組合中央外勤部員の一錢の同日までに貯へられた一圓三十二錢ならびに銀紙五十匁も受託關東軍へ送附した

本社扱事變獻金 一萬圓突破

皇軍、國軍慰問に
木曜會一萬圓を醵出

各特殊會社、銀行を網羅する木曜會では今回出征皇軍ならびに滿洲國軍に對し慰問金として一萬圓を醵出、うち八千圓をもつて國防婦人會ならびに國防婦女會に依頼して慰問袋を作り、二千圓をもつて傷病兵に對する慰問に當て、野戰病院等にラヂオを備へつけることゝなり、出來上り次第關東軍ならびに治安部に獻納することになつた

領警署の異動評
長田、中島、西見氏等の功績

二十日午後十一時發令された廣範圍に亘る管下警察官の異動に新京署、領警署は昇進及び榮轉組に署内はそれとなく喜びに溢れてゐるが

昇進組 の筆頭司法係の長田武雄氏は昭和十一年帝大卒業、在學中司法、行政の高文にパスした秀才、十年九月新京署振り出しに警察界に身を投じ日淺くして警部に續いて衛生係平岡、領警司法係の小谷兩巡査部長は警部補に各昇進、轉出組には高等主任中島警部州廳警察署へ保安次席松林警部補普蘭店署、警務係高松衛生係大坂兩巡査部長は警部補に昇進兩者とも鞍山署へ領警司法主任兼檢事々務取扱西見警部は大連署へ、保安係桑村巡査部長四平街署へ警部補として各榮轉し二十一日は兩署とも送別會惜別の話こざわめいてゐる

榮轉組 の略歷は▲州廳高等科勤務の中島警部は大正十三年和歌山中學を卒へ昭和二年三月哈爾濱日露協會露語科を卒業翌三年關東廳巡査を志し警察界に入る昭和十一年任警部、本年四月安東署より新京署高等主任として赴任以來市民周知の『ひとの道』の檢擧、街の紳士への彈壓掃蕩と矢繼ぎ早に鮮やかな手際を見せ大なる功績を殘した、氏は三十二才明朗な性格と明晰の頭腦と相俟つて將來を囑望されてゐる人である

▲領警司法主任兼檢事事務取扱西見警部は大正四年山口縣巡査を振り出しに警察界に入り昭和七年七月警部補として滿洲警察界に轉じ十年三月警部昇進と共に新京領警署警務主任、執行主任を經て現職に至る溫厚篤實溢るゝ人情味と太腹は常に部下、民衆の敬慕せるところであつた(寫眞は中島、西見兩氏)

今晩の主なる演藝放送

▲八・〇〇吹奏樂(廣島)吳鎭守府海軍々樂隊▲八・二〇ハープとフルート(東京)加藤敬子外▲八・五五浪花節「上州長脇差」(東京)木村松太郎

演藝映画

非常時局に對する日活映畫の今後の方向を協議し、銃後の國民に健全なる良き娛樂映畫を送るべく愼重なるプランの検討を行ひ、藝術的方面にも特に留意以て益々よき報國映畫を作るべく申し合せをなして解散をなした

再映二本立 けふからの帝都キネマ

帝都キネマ廿一日よりの番組はワーナー作品にポーランド映畫を配した左記二本立である

▽ワーナー「眞夏の夜の夢」シェークスピアの幻想劇の映畫化でマックス・ラインハルトの監督作品である、主演者はジェームス・キャグニー、ディック・ポウエル、ジョージ・ブラウン、ヴィクター・ジョリイ、オリヴィア・ハヴィランド、アニタ・ルイズ等で、ファンダヂックな魅力を一應備へはしてゐるが、これは映畫的なものでなく寧ろ舞台劇的なものとなつてゐたのはラインハルトとしては些か手違ひの感である、同じ視覺に訴へやうとするスペクタクルも甚だ效果を失してゐるのもこれが爲であつたらう、然しともあれ色ある大作として等閑視出來得ないものである

▽波蘭プロークムツア「あらし」ヤーツイア・アンドルツエイエウスカの主演する映畫でユリウス・ガルダンの監督作品、男の誘惑にかゝつて處女を奪はれ子供まで生んだが、哀れ貧苦の母親には子供を育てることが出來ない、過つて子供を河中に落すのだが世間は彼女がわざと殺したのだといふ―女の悲劇を扱つた新興ポーランドの映畫、未熟ではあるがどこにも注がれた眞摯な情熱が窺はれて嬉しい、清新さと一沫の愛嬌のあるのも見てゐて愉しめるものである、新派調めいた物語だから一般のファンにも迎へられる

帝劇合併から 松竹首腦が 東寶株主に

松竹の大谷社長をはじめ町田城戸の兩專務その他松竹の首腦部が今度一齊に東寶の株主となる、と言つたら誰でも一寸まごつくに違ひない、さてはは松竹が東寶乘取りに乘出したかと早合點するむきもあらうが、實をいふと、大谷社長など自分で望まないのに東寶の株主となつてしまふといふのだから益々話が妙だ…つまり今度帝劇と東寶が合併し、帝劇株は東寶株に書き換へられるので帝劇の株主大谷社長町田、城戸兩專務等は自然と東寶の株主になつてしまふと言ふわけ、東寶でもとんだ株主を背負ひ込むので困つてゐることゝだらう

高桑義生氏迎へ 日活脚本部強化

片岡千惠藏、阪東妻三郎の二劍星を迎へて、完全に時代劇界の王座を占めた躍進大日活では映畫は先づシナリオからの建前から、こゝに大衆文壇の異才高桑義生氏を脚本部長に迎へて、脚本部强化を計る事になり、高桑氏の着任と同時に、藤田所長、曾我總務列席小磯夏男、八尋諒、伊能犬作、陣出達男、京都伸夫、伊勢野重任 御莊金吾 中村啓二 比佐芳武の各部員出席非常時

『黃門廻國記』ハリキル撮影

躍進日活秋季恒例の超特作、山本嘉一勤續廿五年記念にして本邦第一の一豪華配役二大巨星片岡千惠藏、阪東妻三郎顔合せ映畫〃水戸黃門廻國記〃は準備萬端整ひ去る四日より銳意撮影に取掛つたがこれが監督を擔當の巨匠池田富保は皇軍の決死隊が白襷でもつて勇往死地に突撃するに奮起し同映畫撮影隊一同は召集狀をうけたと同じ覺悟でもつてこれが完成を期すべく三百本の白鉢卷を自腹を切つて注文正面に水戸家の定紋三葉葵を染め兩横に〃奮闘〃の二字を配した白鉢卷を卷いた撮影隊のハリキリ方はスタヂオ街を壓し隊長池田監督の勇姿は颯爽として見る者をして戰地に於ける部隊長の觀を抱かしめてゐる

國際映畫「颱風」新國劇出演者 第一回本讀み

國光映畫社が愼重裡に銳意準備を進めてゐた國際映畫ウルフガング・パジェー原作並に監督リヒアルト・シュアイツアー脚色、リヒアルト・アングスト撮影の「颱風」は愈よ脚本も脱稿を見たので十二日正午から國光映畫本社に於て主演者新國劇の島田正吾、辰巳柳太郎も出席して第一回本讀みを行つた十五日から伊豆方面のロケを開始したが同映畫の美術監督は特に河野鷹思氏が擔當

ニュースに押される漫畫

ミツキーマウス、ポパイ、ベテイと漫畫の人氣は一頃すばらしく其の他でも「漫畫まつり」等といふ特殊興行を行つて成功を收め時代の寵兒となつてゐたが、これ等漫畫は事變前ニュース館のポツ／＼出來た頃から益々引張り凧となり配給會社の言ひなり放題に契約する向きもあり漫畫の料金はすばらしく上昇して仕舞つてSY邊りでは遂に「漫畫まつり」を中止するに至つたが更に事變の影響を受けてニュース映畫のスリルは漫畫興味を喰つて了ひ、映畫館も高い映畫を使用するよりニュースや時局短篇を盛澤山にする方針をとり このところ漫畫は一寸影をひそめた形である

乙女十九

▽▽新興大泉、田中春男、毛利峯子、築地まゆみ、ジョー・オハラ等の主演する映畫で、齋藤豊吉原作を如月敏が脚色、久松靜兒が監督に當つた作品である、新市域にある下宿屋を舞台に、そこに住む貧乏畫家、大學生、失業した亭主を持つてゐる女、田舍からやつて來た娘、と登場せしめて、これらの日常生活から美しい戀愛の姿を描き出さうとする、キヤメラは中井朝一、銀座キネマ廿三日封切

さぼてん

238からモンテカルロに移つて奈々子といつてゐる子、新京は刺戟がなくて困る、男といふ男皆んな愛想が盡きるし舍つぺばかりと旺んに氣焰をあげる▼どんな男が欲しいかといふに、さうネ戀愛の相手にならクラーク・ゲーブルみたいな男、結婚の對象ならウイリアム・ボウエルなどと言ふ▼そんな男新京にはゐないわネ、だから寂しいのヨオ、と語尾は悲鳴にも似て身體をふるはして齒痒ゆがつた！

雜音

帝都キネマ、長春座けふから寫眞替り、帝都は「名畫鑑賞會」と名づけて凝つたものを集めた、二本とも一應目をとほしておくべき作品である▼長春座は「麗人社交場」「春姿五人男」「嘆きの母」の三本立、先週盛況のあとをうけて手頃なプロである▼なほ「男の償ひ」の後篇は來月一日頃の封切となるらしい、とに角確實に入れる寫眞を月何本か出してくれるのだから松竹たるマーク捨て難い魅力である▼PCLの「南國太平記」は傳次郎入社第一回出演作品であるが甚だとり得のない寫眞である、もつともあれだけ長大なものをアタフタと十二卷に纒め上げるのは最初から無理である、才人三村伸太郎のシナリオを以てしても到底こんな條件の下では完成される筈がない、傳次郎を責めることも成程必要ではあらう然しそのためには作品の質そのものをもつと向上せしめる事によつて一層の效果を期すべきであると想はれる。

九月二十二日 水曜 壬子 先勝 平 箕宿 舊八月十八日

●一白の人 辛勞多き割合に實績の舉がらざるものとす 甲と丙と丁が吉
●二黒の人 運通漸く開けて利潤は着々として目立つ日 庚と辛と壬が吉
●三碧の人 萬事不滿勝に終らんとする日焦るは更に凶 乙と丙と丁が吉
●四綠の人 寸時も惜みて働くが勝ち急功なきも發達す 丙と丁と辛が吉
●五黃の人 堰を開きし水の如く何物をも押流す勢あり 辛と壬と癸が吉
●六白の人 萬事行詰りを生じ易し起業開店旅行など凶 庚と辛と亥が吉
●七赤の人 輕はづみして中途に破れを生ずることあり 辛と亥と壬が吉
●八白の人 轉ばぬ先の杖として目上の意見を質すが吉 甲と庚と辛が吉
●九紫の人 屈托する事なく氣を張りて萬事に當るが吉 丙と辛と壬が吉

(開店を待つ寶山百貨店の偉容)

當座貸越利下に付 日銀當局談發表

國債擔保貸付利率との差縮小

【東京國通】日銀では廿日利下げ實施理由に關し左の如き當局談を發表した

日銀はさきに國債擔保貸付最低利率を日歩九厘に、また當座貸越及びコルレス・ボンデンス貸越利子を日歩一錢二厘に引下げ、去る七月十五日より實施したが、その結果右兩利率の開きは三厘となつてゐた、しかるに當座貸越しおよびコルレス・ボンデンス貸越しは同じく國債を擔保とするものであり、從つて兩者の開き三厘は多きに過ぎるので今回當座貸越しおよびコルレス・ボンデンス貸越利子の日歩一厘かた再引下げを實行して兩者の開きを二厘に縮小したものである

鮮銀の貸越利下も 一兩日中發表

【東京國通】鮮銀では廿日午後五時重役會を開き廿一日より實施の日銀當座貸越及びコレスボンデンス貸越日歩一厘方引下げに伴ひ同行の態度決定につき協議、京城本店に照會中だが、一兩日中に本店よりの回答を待ち大藏省の認可を得た上正式發表する筈であるが、大概日銀利下げに追隨從來通り、銀利率と三厘幅の一錢四厘と改訂する模樣である、なほ臺灣銀行も近く利下げをなす筈である

滿炭資金繰 一擧倍額增資

滿洲炭鑛會社では今回シンジケートの結成によつて本年度內に二千萬圓の前貸金の融資をうけることになつたが、本年度の事業資金は大體五千六百萬圓で、殘りの三千六百萬圓は第二回分拂込みの千六百萬圓と利益金の一部ならびに現地調達によつて賄ふ豫定である、しかして同社の五ヶ年計畫千五百萬噸出炭に要する總經費は二億四千萬圓で、社債五千五百萬圓、株式拂込み一億七千萬圓殘りの千五百萬圓を利益金から振り向ける豫定で、本年度は未拂込み株金を徴收するほか資本金八千萬圓を一擧倍額の一億六千萬圓に增資するに內定してゐる模樣である

南滿新米出廻 極めて順調

本年度南滿地方新米出廻りは九月に入ると同時に新米はしり極めて順調で一部地方の旱魃水害地を除いては全般的に良好と見られ昨年の新籾四百五十萬石に比し二割強の增產確實で、本年度の收穫は凡そ籾五百四十萬石である

中旬の貿易 出超を示す

【東京國通】大藏省發表九月中旬對外貿易概算(單位千圓)

輸出	九七、三三九
輸入	九二、七五五
合計	一九〇、〇九四
出超	四、五八四
一月以降累計入超	七八一、四六九

△重要品輸出入額

品目	金額
輸出	
綿織物	一七、二九七
生絲	一一、一〇四
人絹織物	四、六七五
機械類	二、五九一
絹織物	五、四二
罐瓶詰食料品	二、二三一
メリヤス製品	二、一〇五
毛織物	二、四一五
陶磁器	一、五〇九
綿絲	一、八一一
玩具	三七、六六一
計	九三、五九六
輸入	
棉花	二〇、一二四
羊毛	一八六
豆類	六六二
生ゴム	一、八九七
パルプ	三、三四九
木材	二、七四三
石炭	一、七四五
硫安	一六七
精油用原料	六八八

品目	金額
油粕	一、六七七
小麥	一、〇四五
麻類	七九〇
砂糖	一、〇三三
その他	五、七六八
計	八八、五七七

大陸科學院と勸農模範場

一國の產業開發が國內資源の科學的研究の結果に負ふ所は頗る大きい、滿洲國における資源開發の綜合研究機關として誕生した大陸科學院が最近漸く機關の整備を終り、その內容を著しく充實したことは科學滿洲の力強い足どりを示すものとして頗る意義深いものである

又農業部門における試驗研究機關として農事改良および農產物增產計畫の遂行に重要な任務をもつ農事試驗場が過般の農政審議會において一律に勸農模範場なる名稱の下に改…能を強化し各縣農施設と綜合的に運營されることになつたことは農本國滿洲の基礎を築く力強き礎石たることを失はぬものである

□

ところで問題は兩者の農業關係における試驗研究部門の調整であり、大陸科學院が綜合的研究機關として一應各種資源の科學的研究試驗を行ひ、勸農模範場が專ら農業部門における土に即應せる改良試驗に從事するものとはいへ、兩者の研究は不可分關係にあるので、從つて農業部門における兩者の研究を如何に調整するかは今後愼重に檢討を要する問題である

現に試驗研究機關の一元的統制とか或は研究の中央一元化とかの見地から農業部門におけるそれを綜合的に大陸科學院が行ふべしといふ意見が一部にある樣に聞く、かゝる意見は畢竟兩者の機能調整に對して現在何等の解決策が明示されてないためであると思はれるが、もし大陸科學院でかゝる見解が公式に考慮されてゐるとすれば全く暴論の甚だしきものといふべきである

□

かゝる暴論が傳く一部にしろ行はれてゐるのは畢竟大陸科學院の農業部門に於る農產科、林產科、畜產科の研究對象が一部勸農模範場のそれと重複する虞れがあることを懸念したものと思はれるが、兩者の研究方針は根本的には全くその方法を異にするものであつて、單に研究機關の一元化といふ樣な機械論的な見解から地方における勸農模範場の研究部門をも一律に大陸科學院に接收せんとする等は全く暴論も甚だしきもので、恐らく中央に設置される綜合的勸農模範場のそれを一本にする建前をとらんとするものではないかと思はれる、しかして地方農事試驗場における研究對象が該地方の特殊性に基き地方的試驗研究を行ひ中央機關としての勸農模範場がそれ等の綜合的研究機關としての機能を持つべきであることは當然である以上は、斯かる暴論は絕對認めらるべきものでなく、又研究對象の重複の如きは他に適當な手段を講ずることによつて兩者の關係を調整し得るのである

その一方法として大陸科學院と中央勸農模範場との間に農業部內における試驗研究に關する「研究委員會」を組織し本委員會が農事試驗に關する一切の指導機關として兩者の關係を連絡調整する案が考へられてゐると聞く、兩者各々その機能の擴大を來せば本問題は早晚愼重なる檢討を要するものである

以上の如き調整案は最も妥當なものであつて又その實現は決して困難なことでなく、當事者は協力して速かに「研究試驗委員會」を組織すべきであらう(國通)

沿岸封鎖と大連貿易 影響は少ない

冀東貿易は復活す

大連港の北支貿易の內、大連河北省間に行はれる貿易は所謂冀東貿易と稱せられ最初は戎克によつて行はれてゐたが該貿易の安全性が確立するに伴れて漸次大規模化し後には遂に全部が發動機船によつて行はれるやうになつた、その結果、戎克は冀東貿易から逐はれて滿洲國沿岸貿易並に山東省方面の貿易にのみ使用せられることになつた、冀東貿易は事變後北寧鐵道の不通のため一時杜絕したが近來又ぼつぼつ行はれつゝある模樣である、これは全部日本籍の發動機船で行はれて居り今次の支那沿岸封鎖によつても影響を受けることはあるまいと見られてゐる、昨年一ヶ年の大連—山東省戎克貿易は滿鐵貨物年報によると輸出では高粱、木材、石炭、味噌、醬油、石油等輸入では野菜、果實、石材、陶磁器等が主要貿易品である、事變後之等輸出入は減少或ひは杜絕したが輸入方面は內地よりの補給其他により現在それ程の影響は現れてゐない、輸出も季節的關係より高粱、木材の輸出少く、又味噌、醬油が在留邦人の引揚により需要減退したため杜絕したのを除いてはそれ程の減少を示さなかつた、而して今後沿岸封鎖によりこれ等輸出の全面的杜絕を見るのは必然であるが大した影響はあるまいと思はれる

輸出入六品の 內譯金額發表取止め

【東京國通】大藏省はさきに九月上旬貿易旬報より重要輸出入品中輸出四品、輸入四品計八品目の內譯金額發表を取止めたが、更に二十日發表九月中旬貿易旬報から輸出三品(植物油、鐵製品、精糖)輸入三品(鑛、自動車及び同部分品、機械類)計六品の內譯金額發表をも取止めることに決定した

安東八月の 卸賣物價概要

關東局官房文書課調、安東に於ける昭和十二年八月分の卸賣物價の概要次の如し

騰落割合(重要品目三十八種に付算書)

前月に比し六厘騰貴

前年同月に比し一割四分三厘騰貴

昭和五年一月に比し指數一二三、一即ち二割三分一厘騰貴

昭和六年十一月に比し指數一六五、〇即ち六割五分騰貴

尙類別に依る指數を示せば次の如し

(上より順に前月、前年同月、昭和五年一月、昭和六年十一月を一〇〇とする數字)

類別	前月	前年同月	昭和五年一月	昭和六年十一月
食料品(七種)	一〇〇、九	一〇九、四	一一六、八	一二九、八
調味料(七種)	一〇〇、五	一二一、九	一二三、四	一三八、一
飲料及嗜好品(六種)	一〇〇	一〇四、〇	一一〇、八	一二〇、六
衣料品(二種)	九七、六	一〇四、二	一一三、六	一六九、八
燃料(二種)	一〇〇、〇	九八、三	八一、五	一二四、六
建築材料(十一種)	一〇一、六	一二九、九	一四〇、一	一九一、九
雜品(三種)	一〇一、〇	一二〇、六	一四三、八	一七八、六
總平均(三十八種)	一〇〇、六	一一四、三	一二三、一	一六五、〇

二、騰落品目(調査品目六十一種中前月に比し騰落したるものを揭ぐ)

騰貴二十二種

鹽鮭(一割三分三厘)玉葱(一割一分五厘)生石灰(六分三厘)丸鐵(六分二厘)鷄卵(五分三厘)麥粉絲龍(五分二厘)馬鈴薯(四分八厘)麥粉竹(四分)麥粉三鷄(四分七厘)豚肉(三分七厘)麥粉紅絲三菱(三分六厘)麥粉寶船(三分四厘)セメント(三分二厘)白砂糖(二分六厘)洋釘(二分五厘)挽角白松(一分六厘)(二分三厘)板白松(一分五厘)挽角紅松(一分二厘)氷砂糖(一分一厘)板硝子(一分)柏角白松(一分)袖綿(一分四厘)塗料白ペイント亞鉛引浪板(一分二厘)白米、檢査一等(一分一厘)白米、無檢査一等(四厘)

保合三十一種

低落八種

紅松(三厘)生鷄(五分四厘)牛肉(四分六厘)蒲團綿(三分四厘)小…

日滿緬羊協會 龍爪牧場開場式擧行

日滿兩國の經濟提携と羊毛資源開發の國策的大事業遂行のため設立せられた財團法人日滿緬羊協會では滿洲國三江省龍爪に緬羊牧場用地を選定し本年四月より羊舍その他の建設に着手したがこの程落成し諸般の準備も整つたので、いよいよ來る二十六日午前十一時より同牧場において牧場開場式を擧行することゝなつた

商況欄 二十二日前場

海外經濟電報

倫敦金塊 七磅〇志二片〇〇〇
紐育金塊 三五弗〇〇〇
倫敦銀塊 一九片一六分三
同先限 一九片二六分三
孟買銀塊 五一留比八分一
スチール株 八八弗八分五
アナコンダ株 四一弗八分三

▲市俄古小麥
九月限 一弗〇四仙八分七
十二月限 一弗〇五仙〇〇
五月限 一弗〇六仙八分七

▲紐育棉花
現物 八仙九五
十月限 八仙七五
十二月限 八仙六三
一月限 八仙六七
三月限 八仙七七
五月限 八仙八八
七月限 八仙九八

▲カルカッタ麻袋
當限 二三留比一六分三
先限 二一留比一六分九

▲外國爲替
英米爲替 四弗九五仙七二
米支匯替 二八仙九三仙
米日爲替 二九弗八七仙
英日爲替 一志一片六分一
英支爲替 二片四分三
印日爲替 七七留比二分一

▲印棉
ブローチ 一八四留比
オームラ 一六四留比
ベンゴール 一四〇留比

▲阪神爲替
賣 二八弗四分三
買 二八弗八分七
賣 一志二片〇〇
買 一志二片〇〇

各地株式市況

▲東京株式(短期)

	寄付	大引
新東	一四五、九〇	一四五、四〇
日產	六九、五〇	六九、三〇
鐘紡	一四三、〇〇	一四一、四〇
滿鐵	五四、八〇	五四、六〇
大新	八〇、一〇	八〇、八〇

▲大阪株式(短期)

	寄付	大引
大新	八二、三〇	八二、二〇
新東	一四五、六〇	一四四、六〇
鐘紡	一四一、八〇	一四〇、二〇
日產	六九、一〇	六八、九〇
日魯	六一、八〇	六〇、五〇

▲大連株式(短期)

	寄付	大引
五品	一五一、六〇	—
豆新	一九、二〇	—
東新	一四四、九〇	—
日産	六九、七〇	—
滿鐵	五四、〇〇	—
同新	四四、二〇	—
鐘新	一四二、一〇	—
土木	一五、九〇	—
日新	三三、四〇	—

各地商品市況

▲大阪綿糸

	寄付	大引
九月限	三三八、五〇	三三七、九〇
十月限	三三七、五〇	三三六、〇〇
十一月限	三三二、九〇	三三二、〇〇
十二月限	三三二、一〇	三三一、四〇
一月限	三三二、一〇	三三一、五〇
二月限	三三三、八〇	三三一、六〇
三月限	三三三、九〇	三三三、〇〇

▲大阪棉花

	寄付	大引
當限	納	會
先限	六三、七〇	六三、七〇

▲大阪人絹

	寄付	大引
當限	六八、二〇	六八、〇〇
先限	七三、一〇	七三、〇〇

▲大阪期米

	寄付	大引
當限	三四、二一	三三、七〇
中限	三三、一五	三三、九一
先限	三三、一四	三〇、九九

▲横濱生糸

	寄付	大引
現物	八四〇	—
當限	八二三	—
先限	七六八	—

各地特產市況

▲新京 (一石値段)

	寄引	出來高
現物 大豆	—	—
高粱	一三、一〇	一車
米高粱	—	—
小豆	—	—
玉蜀黍	—	—

▲大連

●大豆

	寄付	大引
先物		
九月限	五、九〇	五、七九
十月限	五、四九	五、五四

●高粱

	寄付	大引
十一月限	—	—
九月限	—	—
十月限	—	—
十二月限	—	—

●豆袋入

	寄付	大引
九月限	六、毛	六、六
十月限	六、二六	六、二六
十一月限	六、三三	六、二七
十二月限	六、一六	六、二六
一月限	六、一六	六、二二
三月限	六、三	六、三

●豆粕

	寄付	大引
現物	三、四〇	三、四〇
九月限	—	—
十月限	二、四〇	二、四〇
十一月限	—	—

●豆油

	寄付	大引
十二月限	二〇、五〇	二〇、五〇
一月限	—	—
二月限	—	—
現物	—	—
九月限	—	—
十月限	—	—
十一月限	一七、六〇	一七、六〇
十二月限	—	—
一月限	—	—
二月限	—	—

白い天使 (九九)

林房雄作 吉田眞里畫

トランク (五)

『…………』

史子夫人は、暫く言葉がでなかつた——ひげがのびて、頬骨がでてやせて青ざめた秀夫の顔。

かすかに血の色をにじませたいたくしい繃帶。

『助かるでせうか?』

思はず、そんな問ひがでた

『今朝あたりから、ずつと調子がいゝのです。醫者も大丈夫だといつてくれました。』

『なぜ、早く知らせてくれなかつたのです?』

『あたしも、やつと、昨夜、おそくなつて、こゝをさがしあてたのです。新聞をたよりに、爭議の現場にかけつけたさきには、もう騒ぎのあつたのちで、警官や事務員たちがあとかたづけをしてゐる時でした——居合せた新聞記者らしい人にたづねたのち、やつとこゝをさがしあてたのです……』

『まあ、それはありがたう』

と心から禮をいつて

『傷の方はどうでせうか?』

『それほどひどくないと、醫者の話ですが……』

そこへ、警察の方にまはつた田中がやつてきた。彼は、眉をよせて、重大さうな顔をして、つとめて事務的にふるまふことによつて弘子に對する氣まづさをごまかさうとつとめてゐた。

病院に入つてくると、あたりをじろじろ見まはしながら

『これはひどい。こんな病院にながくおいておくことはならぬ。家にひきとるか、ほかの病院にうつすかしなければ……』

『でも、動かせますかしら?』

『…………』

と、史子夫人が心配した。うしろから刑事がさりなしに

『なに、大丈夫ですよ——ちよつとした、かすり傷みたいなんですから』

『とにかく警察の方は、ぼくが責任をもつてひきうけることにしてきたから』

と田中は話をひきとつて

『今後斷じて、このやうな運動にたづさはらせない——今度のことも、ほんのかゝり合ひで、もとより本人の意志からではなかつたのだから、起訴は見合せてもらふやうに話をつけてきた。ちやうど署長が、父の知りあひだつたので都合がよかつた。』

眠つてゐたと思つた秀夫が顔をあげた。

『兄さん、よけいなことはしてくれない方がいゝね——ぼくは家になんか歸らぬ積りだよ』

『おい、なにをいふか、おまへはだまつてゐろ』

『ぼくのやつたことが本人の意志でないなどと、勝手な事はいつてもらひたくないよ——ぼくはやるべきことをやつたにすぎないのだから……』

『なにをいつてゐるのだ……おまへは、なにをいはうとも僕と同じく、ブルジョアだぜ。それがプロレタリアの爭議に關係して、負傷するなんて、道樂にも、ほどがあるぢやないか!』

『道樂で、爭議がやれるか! ぼくはこの半年近い勞働の生活でブルジョア生活とは、少しは緣どほくなつたつもりだ。むろん、今度の爭議だつてぼくが主謀者になつたわけではない。

人のあとについていつたにすぎないが、しかし、ぼくのやつたことは今までのブルジョアのノラ息子ですごすより、十倍も價値のあることだと信じてゐる。正しいと信じたことをやつたのだ。

男として恥かしくないと思つてゐる……』

『あんまり興奮しちやいかん……』

と、側から刑事が口をいれた。

『おい、きみ』

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓五十錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三三〇五
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

我が海軍航空部隊 大擧廣東爆撃を敢行

市要所に致命的打撃與ふ

【上海廿一日發國通】わが海の荒鷲部隊〇〇機は廿一日拂曉突如見事な編隊をもつて廣東上空に現はれ果敢なる爆撃を行つた、廣東空前の大空襲で支那側は極度の混亂に陥つたが、わが空軍は悠々一時間に亘り市内各所の軍事施設を爆撃し多大の損害を與へた、これに對し支那空軍は襲撃完了直前に何處からともなく七、八機現はれたが、わが無敵空軍はこれを反撃し、直ちに數機を撃墜した

【香港廿一日發國通】廿一日午前六時半ごろより約一時間に亘つて敢行された廣東大爆撃は從來に見ない壯烈なもので、飛行場、軍需工場、兵舍、政府機關等は悉く爆彈の雨に見舞はれ黒煙濛々として午後に至るも鎭火せずなほ炎燒中でその損害は實に莫大と見られる、この日午前六時二十分頃わが海軍空襲部隊が澳門郊外上空を通過したとの警報に接するや廣東ではけたゝましいサイレンを鳴し、支那空軍戰闘機數機も離陸し堂々機翼を連ねて進むわが荒鷲部隊を邀撃したが、わが〇〇機は敵戰闘機を蹴散らしつゝ些も編隊を亂さず[illegible]射砲、高射機關銃の齊射をものともせず急角度ダイビングをもつて約一時間に亘り爆撃を繼續、空襲の目的を完全に達し敵機數機を撃墜した上悠々歸還の途についたが、この日の空爆は全くわが空軍の一人舞臺の觀があつた

海陸に勇猛荒鷲部隊

連雲港（隴海線）を再度空爆 "明月の銀翼"敵陣壓す

【〇〇艦上にて廿一日發國通】海州および徐州の空爆に驚異的命中率を示した第〇艦隊所屬の「明月の銀翼」〇〇機は、廿一日午後一時半再び〇〇基地を出發、隴海線の起點たる連雲港の棧橋その他の主要營造物の空爆を敢行、廿日爆破された重油槽は廿一日なほ黒煙を沖天に吐きその中から敵軍は高角砲、機關銃を亂射抵抗せるも僅かに一彈がわが空爆軍の翼をかすめたに過ぎず、廿日姿を現した敵の軍爆機はいづれにか飛び去り姿を見せず「明月の銀翼」の勇士は快哉を叫んで歸還士氣ます〱旺盛なり

米大使館の避難に 支那側官民極度に憤慨

【上海廿一日發國通】廿日のわが勸告に對し南京米國大使館が他の外國大使館に率先して避難するに決定したことは支那側官民を極度に憤慨せしめてゐる、すなはち支那側の要求たる上海黄浦江において日本軍艦の附近アメリカ軍艦を碇泊せしめざるやうとの要求に對しては直ちにこれを拒絶したるに拘らず今回の日本側の勸告に對しては直ちにこれに從ふ等先のル大統領の武器輸出禁止とゝもにアメリカに對して抱いてゐた數年來の友誼を失はしめるものであり、かくなる上は支那側はアメリカに對して或る種の報復手段をさへ考慮せねばならぬと息まいてをり、今回の事變に現れた日米親善を甚しく嫉んでゐる

米當局冷靜

【ワシントン廿日發國通】日本軍がいよ〱南京の徹底的爆撃を決意、長谷川第〇艦隊司令長官の名をもつて南京在留外國居留民の避難撤退を勸告したことについては各紙とも大々的に報道し、殊に南京駐劄米國大使ネルソン・ジョンソン氏が急遽大使館を撤收し大使館員一同と共に砲艦に避難したとの報道を重視してゐる、但し國務省當局は日本軍の勸告に別段驚いた模樣なく遲かれ早かれ當然招來すべき事態が起つた迄であると冷靜な態度を持してをり、國務次官補ウオルトン・ムーア氏も廿日ボストン旅行中のハル國務長官に代り新聞記者團との會見において左の如く語つた

ジョンソン大使今次の措置はあらかじめ國務省の許可を得たもので訓令の趣旨と完全に一致して行動してゐるわけだ

尚日本軍が避難勸告について如何なる擧に出るかは注視されてゐるが、一般に日本軍の南京空襲はかへつて戰闘の終結促進に役立つであらうとみてゐる

皇后陛下 出征應召軍人遺家族に 十萬圓御下賜

【東京國通】廿一日午後宮内省發表―

今次支那事變に際し出征および應召の軍人遺族ならびに家族を扶助するの目的をもつて諸團體相協力してこれが援護の實を擧ぐる趣旨聞召され、皇后陛下には金十萬圓御下賜相成りたり

御歌を賜ふ

【東京國通】皇后陛下には今次支那事變に對し出征および應召の軍人遺族ならびに家族に對し深く御心を垂れさせ給ひ、左記御歌を賜りたり

皇后陛下御歌

慰めん言の葉もかな戰ひの庭を偲びて過ぐす輩を

内相、各道府縣に訓令

【東京國通】畏くも皇后陛下には支那全戰線に活躍する將士の身を思召され日毎御自ら卷かせられた繃帶を御下賜あらせられる深き御心を注がせ給ふが銃後に殘る家族の上に對しても絶えず御仁慈を垂れさせられ側近者より遺家族の生活狀況救恤狀況等を具さに御聽取または毎日報ぜられる數多の應召美談等必ず御目を通させ給ひ遺家族の心情を思召されて御歌さへ詠ませ給はぬと承るが、今度これ等氣の毒な應召遺家族の御救恤の畏き思召しから銃後にあつて救恤事業に活躍する諸團體に對し御仁慈溢れる有難き御歌と共に金一封御下賜の御沙汰あり、馬場内相は二十一日午前宮内省に出頭松平宮相より御下賜金を拜受した内相は直ちに各道府縣に對し畏き御心に副ひ奉るべく遺憾なきを期すべき旨訓令を發した

南京政府改組案 天津に達した情報

【天津廿一日發國通】支那事變發展とゝもに南京政府部内において聯ソ容共派の擡頭進出は目覺しく南京政府は全く共產化の一色に塗りつぶされ毛澤東、朱德等共產黨首領、馮玉祥、陳果夫等親露派が表面に躍り出てこれに牛耳られる南京政權は急速に共產化しつゝあるが、最近の南京政府改組案として確聞するところは左の如くである

一、蔣介石を大元帥とし元帥府のもとに參議院、國防軍事、國防經濟、國防政治、北平啓蒙區を置く

二、國防軍事委員會
委員長 蔣介石
總司令 馮玉祥
總參謀長 白崇禧
副參謀長 毛澤東
參謀委員 朱德
同 彭德懷

三、國防經濟委員會
委員長 宋子文
副委員長 孔祥熙
委員 王[illegible]
同 杜月笙

四、國防政治委員會
委員長 毛澤東
副委員長 陳果夫
委員百五十名

滄州集結の支那軍を爆撃

【〇〇根據地廿一日發國通】中富部隊の〇〇機、島田部隊の〇〇機は、各〇〇機編隊にて廿一日早朝〇〇根據地を出發、津浦線の要地滄州附近に集結中の支那軍に對し果敢なる爆撃を加へた

滄州の陥落目睫に迫る

【興濟鎭廿一日發國通】姚官屯驛を中心に東西に布かれたところの滄州陣地線に向つて果敢な進撃を續けてゐるわが沼田、永野、赤架の各部隊は、砲兵部隊の掩護のもとに前面の敵を掃蕩し、早くも敵陣地に肉薄し最前線は敵前約二百米の地點に對峙して滄州陣地の奪取は目前に迫つてゐる

日支紛爭諮問 第一回委員會開催

【ジュネーヴ二十日發國通】日支紛爭に關する聯盟二十三ヶ國諮問委員會は二十一日午前第一回會合を開催することゝなつた

蘇州驛附近を爆撃

【東京國通】廿一日午前十一時發表海軍省副官談＝廿日夕刻海軍航空隊十數機をもつて蘇州驛附近の軍事輸送施設および軍需品倉庫を爆撃しこれを大破せしむ

戎克爆撃ぢや不足 手應へがない！ 海の荒鷲宮田大尉

【旗艦〇〇にて廿一日發國通】殊更に特筆すべき南京市大空襲に參加せんと志願して出た勇士達は驚くべき數であつたが、中でも今度の事變勃發の最初に飛んで見事敵機を撃墜した〇〇の宮田大尉は、どうしても參加せんものと蒲田艦長に願出たが、艦長は「みんな南京の方に行つてしまつたらこちらが留守になるぢやないか、君は本艦の護衛兵のやうなものだからゐてもらはなくちや困る」といはれて遂に許されなかつた、髀肉の歎に堪へない大尉もさういはれてみれば仕方がないとあきらめてゐたが銀翼を連ねて轟々と征空に向ふ勇士達を艦上から見送り飛行服をぬいで「徹底的にやつて歸つて來いよ」と手をふるのであつた、午後二時突如宮田大尉に出動の命令が發せられた、張り切つた大尉を搭せて〇〇の水上偵察機は碧空の彼方に消へた、目的は蘇州河上流を遡りつゝある支那の戎克爆撃だ、十九日から廿日にかけて相當多數の戎克がカムフラージュして渡つてゐるとの報告が入つたのである、約一時間再び大尉は歸つて來た、ガッチリ飛行服に身を固めた大尉は艦長に「やつて參りました、二隻位通つてゐましたが二發落したらフッ飛んでしまひました」と報告する、感想はどうですと聞くと「戎克位ぢや手應へはないよ、あれでなくちや」と指す方をみれば、今しも南京空爆から歸つて來た味方の飛行機の雄姿が鳶のやうにみえた

我軍蔣家宅に進出 軍工路を完全に占領

【羅店鎭廿一日發國通】羅店鎭、月浦鎭を繋ぐ大道線に枚を銜で待機中であつた〇〇本部隊は廿一日午前八時半過ぎ折柄の篠つく雨を冒して〇砲隊の天地をさく砲撃掩護下に細見〇〇隊を先陣として蜿蜒十軒に亘る〇〇部隊前面の敵陣に向つて總攻撃を開始した、わが戰線各部隊は咫尺を辨ぜぬ細雨、靴を沒す泥濘をものともせず敵第一線部隊を撃破しつゝ、ひた押しに押して激戰三時間の後早くも羅店鎭南方の蔣家宅、金家宅、北米宅小張宅、張家宅、小堂子、鎭家灣の線に驚異的な進出をなし、羅店鎭、楊行鎭を連ねる〇〇部隊前線の軍工路は完全にわが軍の手に歸し、後退する敵になほ猛攻撃の手を緩めず目下猛進中

軍報道部發表

【上海廿一日發國通】軍報道部午後六時發表＝（一）羅店鎭北方地區における〇〇部隊は廿一日朝來一部をもつて蘇村附近の敵陣地線を突破せしめ、廿一日午後四時頃にはその後方約二キロ沈家宅、蔣家宅、施陸宅の線に進出し、更に前面の敵に對し攻撃續行中なり（二）羅店鎭南方地區におけるわが〇〇部隊は廿一日午後四時巽家宅、丁家宅、金家村の鐵條網數線を配備せる敵陣地を突破し李家宅、梅尤宅、沈陸王の線に進出し羅店鎭、劉家巷を結ぶ道路東側の堅固な敵陣地に對し攻撃中なり

孟家宅の敵反撃 中根、青木少尉戰死傷

【上海廿一日發國通】廿日午後二時劉家巷附近孟家宅を確保した石井部隊の一部に對し來襲を待む敵強力部隊が突撃ラッパを吹奏逆襲し來つたのでわが軍は「敵ござんなれ」とばかり中根三郎、青木照夫の兩少尉は敵の眞只中に突入、縱横に斬りまくり、午後四時半遂にこれを撃退した、この白兵戰において敵兵九名を斬り斃した中根少尉は敵彈に胸部を射拔かれ壯烈な戰死を遂げた、又青木少尉は左肩部に負傷した、敵は死體四十と重機關銃、小銃等多數を遺棄して潰走した

劉家巷附近で敵を撃退

【上海廿一日發國通】廿日午前十一時頃劉家巷附近小王宅を確保し進撃待機中の鷹森部隊の森部隊に對して強力部隊の逆襲あり、わが軍はこれを邀撃し交戰時餘にして撃退した、この戰闘に森榮次郎、柴田純一兩大尉と井上曉一少尉は夫々負傷した、その他死傷十四名を出したが、敵は多數の死體を遺棄して潰走した

石川、野澤兩少尉負傷

【上海廿一日發國通】廿日夜劉家巷東部無電臺附近の激戰にて石井部隊の石川博、野澤竹次郎兩少尉は名譽の負傷をした

民衆の赤化に 支那共產黨狂奔 公然と煽動を開始

【上海廿一日發國通】上海、北支兩戰線における全面的敗退の色濃厚となるとゝもに南京政府の共產化はいよ〱その度を增しつゝあるが、支那共產黨は抗日人民戰線の名をもつて抗日戰に參加し、南京政權の牙城に喰ひ入るとゝもに一方民衆赤化の猛烈なる宣傳煽動を公然と開始し、中には蔣政權のバックをなす江浙財閥など有產階級に對する打倒を叫ぶに至つてゐる、すなはち上海で發行の共產系抗日雜誌「大道」九月四日發行の文に「上海戰爭の失敗を論ず」と題して支那の有產階級は戰爭を回避して自己の安全を保つたが屈辱妥協に甘んずるが、今次の上海事變においてもかれ等はわが軍が敗戰して早くけりが附くことを希望し、各種の軍事工作を支援せずむしろ怠業的狀態にある、右有產階級ばかりでなく政府要人中にもこの種思想のものが少くない、故に抗日戰におけるわれ等最後の勝利のためには有產階級および政府要人中にこれら分子を打倒するが先づ第一の任務であると論じ、その他共產系の各紙もそれ〲一齊に公然と反資本家的、共產主義的煽動を行ふに至つてゐる

新興機運に燃える 察南自治政府 張家口治安全く恢復

【張家口廿一日發國通】張家口は日本軍入城以來紊亂せる治安、金融は急速度に恢復一新し、察南自治政府は朔北の地に存在する政府とは思はれぬ程内容充實し近代的新組織の下に全機能を發揮してゐる廿日の如きは英、米、獨、佛各國武官が自治政府や治安維持會を參觀しその組織の完備せるを見て驚嘆して歸つた程であつた、政府最高委員于品卿氏は杜運宇、陳玉銘委員等と晝夜兼行察南一帶の樂土建設に努力してをり、商務會、各業公會の代表者を集め物資缺乏の對策を協議する外新設せる張家口放送局を通じ「察哈爾省民に告ぐ」と協力一致を要望する講演を續けてゐる、一方街では市民大會が擧行され張家口切つてのインテリ女性張月峰さんが南京政府の不良教育を反駁し大同協和の教育を主張する等官民一致して新興の機運に燃えてゐる

金融基礎も漸次確立

【張家口廿一日發國通】察哈爾省は從來察哈爾商業錢局以外に各商店が任意に紙幣類似の證票を發行し、幣制の紊雜殊に甚だしかつたが、今回察南自治政府が成立して以來金融委員會に金融調整法を制定し民生の安定を計つてゐる、即ち察哈爾商業錢局及び内外各銀行の發行券以外各商號の發行せる紙幣、定期兌換券等の發行を禁じた、しかし右證券は一定期間に法幣に兌換することゝなつてをり、一方滿洲中央銀行支店は金融機關閉鎖し困窮せる市民のため爲替業務を開始した、これによりはじめて平津方面への送金爲替の途がひらけ多大の便宜を與へてをり、市民の信用增加とゝもに兌換、貯金の利用者は中銀に集中する有樣である

平漢線の我軍十里堡を南下

【北平廿一日發國通】軍司令部午前十一時卅分發表（一）平漢線方面のわが部隊は敵の抵抗を排除し昨夜十時徐水に入城、今朝午前九時頃十里堡（徐水南方約四キロ）附近を南下中なり（二）わが飛行隊は本拂曉保定を爆撃、敵に多大の損害を與へたり

舊平地泉を占領

【官村廿一日發國通】平綏線に沿うて北進中の千田部隊は廿一日午前九時舊平地泉（平綏線の北方四キロ）前面の堅壘に據る敵を攻撃、激戰二時間の後これを撃退、先遣部隊は午前十一時廿五分完全に舊平地泉を占領し引續き攻撃中

廣靈の上空で 敵一機撃墜

【天津廿一日發國通】廿日午後三時半頃蔚縣上空に敵三機現れ午後四時頃廣靈においてわが軍の射撃によりその一機は撃墜された、飛行機はアメリカ製と認められる

新京警察署 事務分掌發令

今回の警察官異動に伴ひ新京警察署では事務分掌を左の通り發令した

警部 反田昭 高等主任を命ず
同 鶴木親三 領事館警察署檢事々務取扱兼司法主任を命ず
同 澤田賦夫 高等係を命ず
同 長田武雄 執行係を命ず
警部補 土師西郎 司法係を命ず
同 岡田治衛 保安係を命ず
同 近藤敏夫 外勤監督を命ず
同 小谷幸次
同 胡川豊
同 平岡輝
同 西本忠 司法係兼務を命ず

本多農林課長來京

拓務省拓務局農林課長本多保太郎氏は二十四日第二次農業移民地千振に開場される緬羊牧畜場落成式に列席のため來滿、二十一日午後六時二十分着あじあで來京、ヤマトホテルに投宿したが、驛頭で語る

第二次移民地千振に設けた牧畜場落成式に列席のため來滿したので、新京に二泊ハルビンに一泊の上千振に赴く豫定である、この牧畜場は五千町歩、一萬五千頭の緬羊飼育能力を有する立派なものです、既に本年七月三千頭の濠洲ニュージランド產のコリデール羊を仕入れてゐるし、來年は同種羊二千頭を仕入れるやうになつてゐるが年々增殖する豫定である、その他六ヶ年計畫で移民に五萬頭の蒙古羊を配頒する豫定です

滿洲國政府は非常時に備へ官吏の義務儲金率を一齊に引上げることになつたが更にボーナスの公債交附案が内定した▼即ち政府は滿洲國十萬官吏の日常生活の自戒自肅と國家資金の強化を圖るためその俸給額に應じてボーナスを公債で交附しやうといふのであるが、これは▼從來の官吏の生活が放縱に流れてゐたといふためではなく國家非常時に當り三千萬民衆の自戒自肅を圖るには先づその指導的立場にある官吏が範を垂れねばならぬといふことに立脚しての案であらうと解される▼所謂非常時打開にはこの位のことを覺悟せねばならぬがこれを單に官吏のみのことゝ考へてはならぬ一般民衆がこれに傚つてこそ始めてその意義があるといふものだ▼毎年新京で狂犬病に倒れる者は數十名を算へるに鑑み當局はこの慘禍を除くため狂犬病豫防注射を實施してゐる▼畜犬家は自己のみのためではない一般民衆のためにも是非豫防注射を受けることを忘れてはならぬ

社説　事變と列國の認識

一

今次事變發生以來、諸列國がどのやうに事變を觀察してゐるかは、われ／＼として一應興味を持てるところであるが、最近の實狀を見ると漸次事變の性質並びに日本の立場に對する認識が深まつて來てゐるのは喜んでいゝ。その一例として八月七日の米誌フイナンシアル・クロニクルが掲げた論說を擧げ得るのであるそれは、今次事變が國策遂行の手段として進行して居るものであることを言ひ、日本の大陸政策の基調について考察しそれはやがて成功するであらうと見てゐるものであつた日本はアメリカ合衆國が廣大なる國土と自然的富源に惠まれ、久しくアメリカ大陸に於いて指導的地位を確保してゐるが如くに、東亞に於いて指導的地位を得んとするものである。この政治的希望は土地と市場とを切實に渴望する事情によつて强められてゐるといふのが觀察の要點である

二

米誌は列國の態度についても概觀を與へてゐる。日本の大陸政策に對していかなる道德的判斷が下されやうとも、干涉の時機は既に過ぎ去つたやうであるとしてゐる。滿洲事變に際して日本は國際聯盟を無視することに成功し、聯盟による干涉の望みは絕つたばかりでなく、主要な聯盟加入國をして事實上中立政策を採るの已むなきに至らしめたヨーロッパの强國には今日少くとも支那のことで日本と事を構へる覺悟をしてゐるものはない。最も强硬に干涉するであらうと思はるゝ英國は手近かなヨーロッパの紛爭と軍備擴充に忙殺されてゐるから遠く極東に容喙する程の餘裕が無い。加之、英國の貿易に利益を齎すと思はれる日英通商協定が成立しかけてゐるからそれを犧牲にする干涉を爲す筈がない。佛國は國內不統一のため極東の紛爭に捲込まれることを欲しない。伊太利は當然の事として日本に對して同情的態度を示してゐる。これに反してソ聯は日本の壓力に抵抗しやうとするが日ソの戰ひは日獨防共協定を發動せしめるであらうからソ聯も干涉を躊躇するであらう。日本は極東に於ける外國の權益を侵害する意圖はないといふ友誼的な意思さへ表示すればいゝといふのがその論調である。

三

英國のロンドン・タイムスも若干の困難はあつても日本の企圖は成功するであらうと見てゐるやうである。支那の不統一、脆弱さは依然たるものであり、その尨大な陸軍、空軍も支那の指揮者が抗日の力を過信するほど强力ではないとしてゐるのである。曾つての滿洲事變の頃と比較しての非常な相違がこゝにも生じてゐることは明白である。

"電業"の基礎確立に盡した功績は大
惜しまるゝ吉田、入江氏の勇退

滿洲電業會社初代の最高幹部として合併早々の同社の基礎を確立するとゝもに全滿電氣事業の統制に幾多の功績を殘した吉田、入江正副社長は廿五日の總會を最後に愈よ辭職することゝなつた

昭和九年十一月在滿九社を合併して滿洲電業公司が設立されてより將に三ヶ年、設立當初百五十三萬八千の電燈數は二百廿四萬一千燈と四六パーセントの增加を示し、電力契約容量では十萬三千キロが廿一萬八千キロと百十二パーセントの急激の增加振りが示す如く今日の社業隆盛は吉田、入江兩氏の手腕に俟つこと多く兩氏の離京は各方面から痛惜されてゐる

吉田社長 は昭和五年三月大將に進級、昭和六年八月技術本部長を辭任し日鐵取締役として民間事業界に入り、昭和九年十一月國策に基き滿電を主體に在滿九社が合併し電氣事業統制會社として新たに滿洲電業公司の設立されるや懇望されて社長に就任、爾來三年間日鐵取締役を兼ねて六十一歲の高齡に拘はらず日滿を往復すること六十數回、連絡船の中で書類に目を通し新京に着いてからは軍部、監督官廳との折衝連絡に席の温まる暇もなく着々と社礎を築き上げた

入江副社長 は滿洲の人々にとつてはその名を知らぬ者が無いほど古い生え拔きの人である、多識多才の如才のない氏は明治四十四年東大政治科の卒業である卒業後直ちに滿鐵に入社し中途で外務省に入り安東領事館の領事を勤めたことがあつたが、再び滿鐵に復歸してからは遼陽その他の地方事務所長を經て奉天公所長を最後に滿電の事務取締役に就任した、滿洲事變の勃發とゝもに在滿電氣事業合同工作の議起るや氏は滿電の總意を胸中に秘めて盡力した、氏は滿洲に於ける典型的な事業家であつた

兩氏在社三ヶ年の功績は社業發展そのものと謂つて差支へなく、昨年末の料金の大巾値下げは滿洲國產業の勃興に一段と寄與する犧牲的大英斷であるが、營業成績に毫も影響する事なきは社礎の鞏固なるを物語つてゐる、本年七月の株主總會で決定した增資問題は周圍の情勢で行き惱みの形となつてゐるが、此責任を會社幹部に轉嫁するは酷である初期建設工作を完了した滿洲國の現勢と電氣事業の現況を對比するとき吾々は吉田、入江兩氏の勞を多とし勇退を惜しむものである

床しい武人の處置
大同入城の皇軍
名跡石佛の保存指示を布告

【大同廿一日國通特派員發】千數百年の由緒ある大同石佛は遠く歐米より杖をひくものも絕えず、古代藝術研究家渴仰の的であるが、最近不逞の徒のため北支方面に搬出され、荒廢しつゝあつたが、大同に入城した〇〇部隊長は廿日佛像保存指示を出し石佛を盜竊するものは處罰することゝなつた、砲彈飛びかふ戰場で三軍を叱咤する多忙な身でありながらなほ古代藝術保護保存に意を用ふる皇軍の床しい心盡しは各方面絕讚の的となつてゐる

廿六機擊墜空中戰も
日常の訓練よりも樂であつた
殊勳の隊長山下大尉談

【上海廿日發國通】十九日南京上空の空中戰で敵機廿六機を擊墜して記錄的勝利を收めた殊勳の山下隊々長山下七郎大尉は柔道三段の典型的武人であるが、昨日の戰鬪について語る

部下各機を率ゐ昨日午前、午後と南京空襲に參加したが、これは自分の初陣で自分の感想は唯愉快、壯快の語につきる、南京上空に達する前に早くも敵戰鬪機を發見し南京附近一帶で二、三十機の敵機と戰鬪した、敵機は逃げる一點張りでわれ／＼の機には少しも反擊して來ず、空中戰約三十分位で敵空軍を完全にやつゝけたので南京上空は唯味方の機のみであつた、戰鬪は全く彼我入り亂れてわが隊の一機で三機を墜したものである、他の部下も一機で二機位を墜し、一機も墜さなかつたものは一人もない位である、兒島一等航空兵の如き敵機を地面近い低空まで追ひかけたゝめ敵機は逃げ場を失ひそのまゝ人家上に激突、自爆したといふ珍例もあつた、しかし十九日の戰鬪は日常訓練のそのまゝをやつたのみで、寧ろ敵が弱いので日常訓練より容易であつたと思つてゐる

あつさり敵二機を屠る
牛田航空兵曹武勇談

【上海廿日發國通】廿日の南京空襲に敵機七、八機が反擊し來るや、わが空軍はこれを擊滅すべく壯烈な空中戰を演じたが、牛田耳一等航空兵曹は見事二機を擊墜し、一機を潰走せしめ殊勳を樹て〇〇基地に歸還した、牛田一等航空兵曹は當時の模樣を左の如く語つた

南京上空にくると自分の機から五百米程上に敵カーチス・ホーク三機を見つけたので接近し擊とうとすると敵機は逸早く逃走せんとしたので直ちに追跡敵機の頭をあげたところを一擊でやつゝけ、續いてそこから二千米程のところで又敵機に遭遇したが、今度は自分が高度の有利な地位にあつて四千米から一千三百米まで追ひかけて難なく擊墜した、三度目は二千米の敵機と空中戰となつたが、敵機は降下ロールで揚子江上に二百米位あたりまで巧みに逃げのびたのでこちらから猛射を浴せたが取逃したのは殘念だつた

もがく支那軍
租界附近を侵す

【上海廿日發國通】最後のあがきに入つた支那軍は愈よ手段を選ばざるの策に出で、外國々旗を掲げた病院、教會堂學校等あらゆる非戰鬪機關を掩護物として不敵な作戰を續けてゐるが、過般の軍工路前線よりの總退却後愈よこの傾向は甚だしくなり、共同租界佛租界にかくれ不敵な抵抗を續け、しかもこれ等の軍隊は晝間は便衣を着して市民をよそほひ、夜間のみ出沒し、更に無統制、無秩序な支那敗殘兵の大多數が租界の周圍に雪崩れ込んで來て、租界の安寧は極度に脅やかされるに至つてゐる、更に第四、第五旅長張發奎はその兵を佛租界隣接地區に駐屯せしめ、南京一帶の戰線に對する兵站の補給本部としてゐる、かゝる事態に及んでゐるので共同租界西部および佛租界警備に當つてゐる英、佛官憲は租界の境界線に土嚢を築き警備を嚴にしてゐるが、日本軍としてはかゝる傾向が愈よ激化して來ればわが前面の敵作戰にも影響を來して來るので、場合によつては適當の措置を講ぜざるを得ない事態に至るものと見られる

デマの本家 南京放送局
遂に涿州の敗戰放送
我軍入城で治安平定

【上海廿日發國通】十八日の南京放送局は、涿州會戰において支那軍一箇師全滅と悲壯なる放送を行つたが、從來終始一貫支那軍大勝のデマ放送を行つてゐた同放送局も敗戰につぐ敗戰の今日となつては最早如何に力んでも國民を欺し得ず、いよ／＼本音を吐き出したわけでこの南京放送を見ても如何にわが軍の追擊戰が猛烈を極めたものであるかは窺はれ涿州平原における敵の損害は三箇師を下らざるものと思はれる、なほ當地に達した情報によれば、暴戾なる支那軍が涿州に立籠つて以來城內の良民大半逃亡してゐたが、日本軍が入城するとゝもにドシ／＼歸來し商務會が中心となつて支那軍に破壞された道路修理などを行ひ暴戾な支那軍にひきかへ餘りにも規律正しい日本軍を歡迎してゐるとのことである

坂本司令官 賦詩
吳淞强行揚陸

【〇〇廿日發國通】吳淞の敵前强行揚陸に協力した第〇艦隊所屬第〇戰隊坂本伊久太司令官は麾下の艨艟を率ゐて目下〇海〇封鎖に活躍中であるが、十九日夜皎々たる中秋の明月を眺めながら當時の壯烈な揚陸戰をしのび左の如き一首を賦した

吳淞强行揚陸
艨艟肅々夜洄河
征士銜枚逆大牙
兵火忽興破險塞
江頭曉聞凱罷歌
第〇戰隊司令官　坂本伊久太

激戰失明した
馬場部隊長を列車中に訪ふ

【天津廿一日國通特派員發】砲彈亂れ飛ぶ中を先頭に立ち敵彈のため不幸にも兩眼を失ひ房山より天津へ後送される馬場英夫部隊長(岡山縣出身)を見舞ふべく記者は途中豐臺驛まで出向き列車內に同部隊長を訪問した、猛惡なる敵軍殲滅のため平漢線房山に隊を進め猛進に次ぐ猛進に敵の心膽を寒からしめた馬場部隊は楊子崗を陥れ〇〇部隊と緊密なる連絡をとりつゝ躍進、峻嶮なる房山々麓に堅固なる陣地を布く敵大部隊の用意周到なる戰車壕と適確なる射擊の中を隊長自ら先頭の戰車に坐乘して散戰車の態形をとりながら猛進敵前百五十米までに接近して前方監視中不幸炸裂せる砲彈の破片に兩眼を失へる馬場英夫部隊長は白衣の病衣に傷つける兩眼を繃帶し二名の軍醫と當番兵に守られながら痛々しい姿ながらはつきりと噛か味のこもつた聲で記者の述べる見舞の言葉になかば體を起すやうにして

やあこの度は皆樣に色々とお見舞を受け、又沿線至るところでの深甚なるもてなしを頂き、誠に有難く思つてゐます、全隊一致目的地點の占據を遂行し得ましたが、多數の部下をなくしましたことは誠にもつて申譯ないと思つてゐます

と追憶的な面持ちで

まあ私は不幸中の幸ひ生命だけはとりとめましたが、雨の如く降り來る敵の集中射擊に遭ひ折り惡しく搭載せる彈藥に命中轟然たる音響とゝもに約廿分間にわたり爆破の連續を行ひ哀れ戰車と生命をともにしたことは本當に氣の毒にたへませぬ

と傍らの今は小さき骨箱に納まれる高濱武夫中尉(熊本縣出身)の白い骨箱を撫でながら

もう一度眼がよくなつたら又前線に行き憎き敵を皆殺しにしたいと思つてゐますがもう私の眼の揃つた時は戰爭もすんでゐるかも知れません

と悔た感慨無量の態であつた記者はこの眼の見えぬ戰士の心境に去來する何物かゞ思はず記者の眼頭をあつくするのをおぼえながら再度見舞を申述べ同隊長の全快を祈りつゝ列車を辭去した

空爆成功は
「正義の軍なり」の信念
南京征空 和田指揮官語る

【上海廿日發國通】十九日再度の南京空襲を指揮し見事敵の首都空軍を痛擊したわが航空隊內の名パイロット和田少佐は同市の空襲につき廿日左の如く語つた

多數の戰鬪機と防空施設を有する南京をしかも白晝空襲し敵國民の觀戰中堂々たる決戰に指揮官たるを得たのは誠に光榮である、十九日初秋の空は紺碧に晴れ絕好のコンディション計畫通り見事に任務を果して來た南京上空に達して此方が空爆せんとするや敵は高射砲を盛に射ちまた戰鬪機で挑戰して來たので最初は苦戰を豫想したが、計畫通り空襲を果し得た、昨日の南京空襲では皇軍は正義の軍なりとの信念があるため不安は一寸もなく全部力强い戰鬪をなし得た、部下の各隊長は自分の意圖の如く動いて呉れた、又飛行機は實に好調子で途中で引返へすのは一機もなかつた、困つたことゝいへば上空で寒くて尿意頻りなることであつた自分の乘つた機にも前後より三機が向つて來て機體に九發を受けた、しかし敵機は一機に逃げ腰で逃げるとなるとゝても早いのでこれを追つかけるには苦勞した

參謀談

【軍艦〇〇にて二十一日國通特派員發】航空戰史に未だかつてみざる南京の大空爆を敢行したわが無敵海軍航空隊は二十日も亦黎明を衝いて首都南京を襲つたが、この大空襲の計畫者第〇艦隊司令部〇〇參謀は午後四時過ぎ軍艦〇〇に引揚げ、カーキ色の軍服を脫ぐ間もなく感想を語つた

これ位のことはまだ小手調べだ、これからいよ／＼本物が出るのだから驚いてはいけない、兎に角勇敢なる實行者があつたからこそこれだけの成果を收めたのだ計畫に多少の缺點はあつても實行者に立派なのがをればその缺陷は補ひ得るものだ、皆よくやつてくれた、自分の心は之等の勇士達に感謝する言葉がない位だこの計畫が進められてゐるうちから是非參加させてくれと申出るものがあまり澤山で困つた位だ、考へて見たまへ全く敵地の眞只中へ乘込むのだ、死は當然覺悟してふゝらなければならない仕事だ、勇士達のあまりに眞劍な面魂に全く打たれたわれ／＼の計畫であの勇敢な者達を二人でも三人でも失つたかと思へば何といつて申譯していゝかわからない、しかしあの勇士達の英靈に報ゆるには充分な空爆だつたことは例へ譬がない位嬉しい、計畫者は血も淚もない人間でなければ出來ないものだといふ事は今度しみ／＼感じた、こんなことではいかぬと思ふのだがともすれば自分の弱さから思ひも亂れるのである、實行者あつての計畫だ、われ／＼はこの實行者に良き計畫を與へなければならないのだ、誰に聞いて見ても實によく戰つてくれた話ばかりだ、貧弱な計畫だつたが

參謀の話はとぎれた、見れば雙頰はやゝ紅潮し、目には銀の小粒が光つてゐた

大同地方の地理的懷古
大宮權平

察哈爾作戰部隊の勇往邁進占領したる大同は古來北支樞要の地區にして春秋戰國趙の雲中、漢の平城、北魏拓跋の首都平城、北齊の太平、北周の雲中、隋の雲內、唐の雲中、五代の大同、遼金の西京、大同府、元の大同路、明淸の大同府とし、雲の一字を以て此地方を代表し、二千五百餘年來史上顯著の政權地點にて內外長城間最緊要の位置にありて山西、河北を睥睨するのみならず意外一帶を掌握する北支經綸の基地なり、之より西方四邦里に佛敎藝術として世界に喧傳せらるゝ雲崗摩崖の造像あり、北魏時代佛敎隆盛の最高頂に達せし孝文帝前後に黎成せられ鬼斧神工天然巖を開鑿して石窟となし其數約二十各窟內壁面に大小の佛龕を作り佛像を現はし羅漢、菩薩化佛、飛天、塔婆等を彫刻配置し、又盛に裝飾文樣を作り崇嚴富麗の壯觀を現出し實に彫刻美術技巧の精錬驚嘆すべきなり、大同東方聚樂莊は平綏線最高の驛站にして其東方白登山は漢高祖が秦末群雄戡定の實戰驍勇の將士を率ゐたるに拘らず匈奴冒頓單于に包圍せられ窘窮の極張良陳平の奇計に依り僅に脫出したるが如き兵略上嶮難の地勢なるに皇軍の勢威疾風枯葉的に克く突破して西進しつゝあるは有史以來の大功績たり、大同北方豐鎭は明の豐川衛にして淸乾隆の初期漢民の開墾にて口外六廳の一として察西鎭守使の駐地近代設置の縣城なり其東北に有名の鹽池寧靜泊あり、豐鎭の北方集寧縣は地名平地泉と呼び平綏線開通以來頓に活況を呈し察哈爾北部より內蒙古に亘り口外第一の物資集散の要地なり、鐵路は之より西向し綏遠歸化城を經て包頭に達す黃河水運を接續す大同の南方は永定河の上流名桑乾河の流域にして治水灌漑大に關け近來農耕地として剖目の價あり、懷仁、山陰、廣武の諸縣を經て所謂天下九塞の一たる雁門關の天嶮に迫る

雁門の名稱は春來秋去の雁群尚且つ飛翔に困むといふ此の地勢にして東西に連互して內長城壁は築造せられあり、雁門關の西北方は乃ち漢民族の遺傳的恐怖する朔と通稱する地方に當り、既往三千年來塞外朔北人類の別世界なる慘憺の苦境として詩に文に肝膽を摧き來りし地域なり、時代は移る今や皇軍膺懲の雄姿颯爽として朔風を衝き雁門關上を徂徠し滹沱汾水の流域を俯瞰しつゝ山西の首都を威嚇する將に目睫の間にあらん

金州日滿人が
「おらが大臣」を激勵
韓經濟相感激の卷

金州在住日滿人有志は經濟部大臣に韓雲階氏を出したことを非常に喜び「われ等が大臣」を大いに激勵すべく南金學院(在金州)在學當時韓大臣の恩師であつた岩間德也氏及び姜承業、鎮子重路兩氏が鄕土官民一千餘名の代表者となつて廿日午後着京、直ちに韓大臣邸を訪問、大臣就任の祝詞書に添へ花瓶その他掛軸等の記念品を贈呈したが、感激した韓大臣は左の如く語る

鄕土の皆樣から大臣就任の祝詞と記念品を頂き又激勵の言葉をおくられまして非常に感激してゐます、今後一層粉骨碎身國家のために働く覺悟です、特に金州在住の日本人の方々が滿人の方々と一緒になつていろいろなことをされてゐるのを聞きまして日滿一體、五族協和の實現が私の鄕土において率先して行はれてゐることを嬉しく思つてゐます

滿拓公社の新職制決定

廿ケ年百萬戶五百萬人移民の大國策の圓滿遂行を期するため日滿兩國政府では、これが遂行機關たる滿拓會社を改組擴大して滿拓公社を設立したが、これに伴ふ新職制は公社理事會議において左の如く決定、直ちに拓植委員會に認可申請中のところ二十一日正式に認可された、新職制によると一室三部十三課一役となり舊職制に比し五課の增加となつてゐる

▲新職制
▲總裁室　總務課、企畫課、經理課、秘書役
▲建設部　建築課、土木課、遞務課
▲經營部　經營課、斡旋課、金融課、自由移民課
▲管理部　土地課、整理課、管理課

即ち從來の總務部、事業部を廢止し建設課、助成課を昇格して建設部、經營部となし移住地の調査および建設と移住地の經營および助成に力を注ぎ、移民國策の遂行に萬全を期さんとするものである、しかしてこれに伴ふ人事は目下考究中であるが、東京支社長は理事生駒高常氏に內定してゐる

英海軍機
地中海に出動

【ロンドン廿日發國通】英國海軍機五機は廿日午前ペンブロークの根據地を出發、地中海方面に向つた、右英國海軍機はニヨン會議で成立した地中海協定に基き商船保護の任に當るものである

復興の意氣に燃ゆ邦人
張家口に歸る

【天津廿一日發國通】皇軍の入城とゝもに治安確立した張家口方面の情況は同地より歸津した人々によつて詳細に傳へられるので、天津に避難中の張家口居留民は復興の意氣に燃え未だわが總領事館警察署員の歸任も見ない今日早くも續々と張家口に向ひつゝある、なほ張家口新政府當局も邦人の歸還を希望してゐるので、今後の發展は目覺ましきものあるものと見られてゐる

商況欄　二十一日後場

株式相場

●大連株式(短期)

銘柄	寄	引
五品	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日新	[illegible]	[illegible]

●奉天株式(短期)

銘柄	寄付	大引
滿取	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
電甲	[illegible]	[illegible]
滿毛	[illegible]	[illegible]
日畜	[illegible]	[illegible]
電業	[illegible]	[illegible]
化學	[illegible]	[illegible]

新京取引市況(廿一日後場)

品目	寄	引	出來高
現物 高粱	—	—	—
米高粱	—	—	—
小豆	—	—	—
玉蜀黍	—	—	—
先物 大豆 九月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月限	—	—	—
高粱 九月限	—	—	—
十月限	—	—	—
十一月限	—	—	—

手形交換高(二十一日)

[illegible]

吉鐵管內背後地の山村副業計畫
路局各方面に實現

吉鐵管內背後地を包含する林產資源は極めて富裕にしてこれが利用は地元農村振興に影響多く、鐵路局は鐵道農村と連絡し副業授產事業を助成しつゝあるが、本年度主要事業として左記實施をなすことゝなつた

一、木炭改良增產施設

昭和十年度以來管下圓筒山外四ケ所にあるものを昭和十二年度黃松甸及び江密峰及び奉吉線口前の三ケ所に製造技術講習會を開催

二、副業林の造成

イ、滿洲クルミの增殖　吉鐵管內造林組合及び愛護村、自警村民に增殖せしむるため目下造成樹林選定

ロ、杞柳（コブヤナギ）の栽培、吉林市內の杞柳細工原料需要に資材として供給するため

三、農山村副業として林產物採取

イ、滿洲國治水問題解決の綠化工作の餘剩勞力を副業化する本年度最初の試み

ロ、藥用植物の蒐集、吉林背後地の藥用植物の分布增殖は將來の山村副業として計畫

滿炭の三年度出炭量

康德三年度（昨年七月一日より今年六月末日まで）滿洲炭鑛會社の各炭鑛の出炭量は二百廿四萬九千餘噸で、これを前年同期に比すれば次の如く六十萬噸の增加を示してゐる（△印減）

	（本年度出炭量）噸	（比較增減）噸
復州	一四六、六五六、九五	△九、〇九五、八〇
八道壕	九七、九七〇、〇〇	九、十三六、七一
阜新	一二〇、五六七、七六	六三、五二一、〇五
密山	七〇、七四三、五五	五〇、九一六、〇七
札賚諾爾	一三一、一四四、〇〇	七四、四三六、二六
鶴岡	四一〇、五二六、〇五	一一四、〇九六、〇五
西安	九五六、〇四四、六七	二六八、四四四、六七
北票	三一二、九六九、四四	九、七一一、五三
合計	二、二四九、六〇三、四三	六〇一、七六三、五三

なほ同期中滿洲國內賣りならびに鐵道用炭需要高は約九百萬噸で、前年に比し百四十四萬噸即ち十八％の增加を示してゐるが、このうち滿洲炭鑛系が二百廿五萬噸である

中央訓練所卒業式

滿洲國陸軍中央訓練所第一期少尉候補生並びに第五期軍官候補生卒業式は廿日午前十時奉天訓練所に於て畏きあたり御差遣の連侍從武官の臨席を仰ぎ擧行された（寫眞は皇帝恩賜品授與の優等生）

京都の老獵師が滿洲猛獸狩を決行

京都の山奧で六十年の長い間獵を職人として生活し斯道の達人として謳はれてゐたが日本は狹しと吉林省の山奧に住む虎、熊の猛獸狩に進出して來た元氣な老人が二十日領事館警察署に奧地旅行の證明書下附を願出た、此の老人は京都府網野町の上垣房太郎（六十歲）で去る八月十四日若者二名を同道來吉出發準備を進めて居たが同行の若者は應召されて歸鄕したのでやむなく獵犬一匹を伴侶として愈々十月初めから來年七月頃まで此の大冒險を敢行するに決したもので上垣老人は土地も不案內言葉も通じないが猛獸狩は一つも恐ろしくないと心臟の强い所を見せてゐた

定例國務院會議
追加豫算案外十件を可決

定例國務院會議は二十日午後二時より開かれ、康德四年度特別會計追加豫算案外十件を上程可決したので、近く參議府の諮詢を經て公布實施される筈

追加豫算案內容左の如し

△總務廳所管

需品特別會計

歲入經常部

收入供給物品價款　五、二三六、四八〇圓

歲出經常部

用品價款　五、一一二、〇〇〇圓

供給附加費　九、四八〇圓

印刷作業費　一一五、〇〇〇圓

總計　五、二三六、四八〇圓

△經濟部所管

專賣作業特別會計

歲出經常部

專賣作業費　五七、九八七圓

歲出臨時部

營繕費　二四五、一四〇圓

總計　三〇三、一二七圓

右の追加豫算は需品においては官廳用品及び印刷作業の增加により需品購入費、印刷作業費の不足を生じたるによる專賣作業においては作業の擴充によるものである

可決諸議案內容

廿日の國務院會議において左の諸議案が上程可決されたので近く參議府會議にかけた上公布實施の筈

一、新京特別市制　七月實施された行政機構改革に伴ひ特別市は新京のみに限られることゝなつたが現行の特別市制は官制事項と團體法規事項とが合一して規定されてゐるばかりでなく、內容においても現在の實情に即して整備を要するものがあるので特別市制は首都に關する制度とし、官吏に關する事項は新京特別市官制に、團體に關する事項は新京特別市制に分別規定することゝなつた、なほ從來特別市長の諮問機關として設けられてゐた市自治委員會は特別市諮議會に改められた

二、新京特別市の區域に關する件

三、黑河省愛琿縣及龍江省龍鎭縣の區域變更に關する件

四、首都警察廳官制中改正の件

五、拒絕證書令　さきに公布された手形法、小切手法を施行する必要上制定されたもの

六、小切手の提示期間の特例に關する件

七、小切手法の適用につき銀行と同視すべき人又は施設を定むるの件

八、支那事變のため國軍又は日本國軍に從軍したる者に對する租稅の減免等に關する件　今次事變のため從軍したる者に對し租稅の減免及び徵收の猶豫をなす

九、交通部內臨時職員設置制中改正の件　時局に鑑み電信、電話等による通信を監視せしめるため郵政管理局に臨時職員を增置し又郵便物檢閱のため郵局に臨時職員を置く必要による

十、康德四年度各特別會計追加豫算　官廳需品の急激なる增加と專賣作業の擴充のため追加豫算を編成計上した

拒絕證書施行 十月一日から

廿日午後の國務院會議において拒絕證書令を附議決定、來る十月一日より施行されることゝなつた

右は先般公布せられたる手形法及び小切手法を施行する必要上制定せられたものであつて日本の法律によれば、拒絕證書作成者は公證人又は執達吏となつてゐるが、かゝる制度の下に於ては種々の弊害あるに鑑みその作成者は之を官吏たる執行官又は區法院の書記官とした、その他の點については日本側立法と大體同樣である

滿鐵社員會

滿鐵社員會本年度第二回幹事會は十月九日大連社員會館大講堂で開催することに決定したが今回は時局問題並に社員會服對總局服の件其他重要議案多く多大の期待をもつて迎へられてゐる

鳥獸保護法講習會

林野局の鳥獸保護法講習會は十九日午前九時より林野局會議室に於て岸局長司會のもとに開始され毛利監理處長の注意等あつて午後二時終了したが第二日目は二十一日午前八時から同會議室で開催、二十五日迄續行される事となつてゐる、講習を受けるものは各省公署、警務廳、各林務所員四十名で講師には日本鳥類の最高權威內田博士、奉天朝日女學校水野薰、司法部北村刑事科長、片山事務官其の他林野局木村、片山事務官等が當る、講習題目は

一、農林業と鳥獸保護

一、鳥類保護增殖の方法

一、狩獵術、森林と鳥獸類

等である

長與善郞氏來る

著作家長與善郞氏は滿鐵の囑託にて少年滿洲讀本（假稱）執筆のため二十日東京出發朝鮮經由來滿　南北滿洲の各都市戰跡古蹟をたづね各地で座談會を開き資料蒐集の上十月二十一日東京歸着の豫定であるが新京には二十八日午後七時三十分着列車で來京、三十日まで滯在の豫定である

朝風丸の拿捕はソ聯の不法行爲
現地視察の佐藤書記官語る

【雄基滿洲丸にて廿日國通特派員發】沿海州方面におけるソ聯官憲の邦船不法拿捕事件調査のため外務省から派遣された歐亞局佐藤書記官は朝鮮總督府岡田技手その他の案內で淸津經由滿洲丸で十九日悠々歸着、ヤマトホテルにて關係方面と約二時間にわたり重要會談を遂げた、會談內容は極秘にされてゐるが、確聞するに朝風丸が拿捕された位置は明かに公海である、廿日午前六時岡田技手は自動車にて西水羅に赴き〇〇の現場に向ひ約一時間にわたり現地調査を遂げ八時半雄基に引返したが、同行の記者に對し佐藤書記官は語る

ソ聯が朝風丸が官船であるに拘らず不法拿捕し、しかもスパイ云々の罪名を付した、私の今回の調査の結果によつてもソ聯側の不法行爲には驚かざるを得ない、かりそめにも官船を拿捕するといふことは帝國の威信にも關係する問題である、朝風丸その他關係者からの報告があると思ふが、それを基礎にして自分の調査と相俟つてソ聯に對し嚴重警告を發する積りである

獨逸東方見本市
滿洲國も參加し兩國親善に寄與

寫眞說明　獨逸東方見本市滿洲國商品陳列場に見入る獨逸政府代表前列右よりコツホ東プロシヤ州知事、加藤代表、フンク宣傳省次官

八月十五日より十八日に至る第廿五回ケーニヒスベルグ國際見本市に滿洲國も參加してゐるので、八月十四日夜汽車で伯林ツオー驛發、十五日午前八ケーニヒスベルグに着いた、ケーニヒスベルグ市は曾ての舊プロシヤ國の

首府で

現今人口卅二萬、實に八百年の歷史を有する舊都であつて、陸はバルチツク諸國、ソ聯、波蘭、海は、蘭、スカンヂナビヤ諸國に通ずる交通の要路に位し、ドイツ最東方の不凍港である、ホテルに旅裝を解いて見本局に新聞班を訪るとアメリカ、イタリー、ポーランド、スエーデン、トルコその他十四、五ケ國の新聞記者が三四十人集つて班長から見本市に關するインフオーメーシヨンを聞いてゐる、側から見本市の徽章と滿洲國の徽章を胸たさした綺麗な女事務員が寫眞や記事資料となる色々の印刷物を渡して與れる、こゝでメツセに對する大體の知識を得て市廳內の大廣間で擧行の開會式に出席した、當日の參會者は約一千名、演壇の後方には丈餘のドイツ東方見本市旗を中心に右に滿洲國、左にスエーデン國をはじめとして見本市參加國ポーランド、フインランド、リツアニア、エストニア、リタウエン、トルコ、ハンガリー、イタリー、ダンチツヒ等の順で各國旗が並べられてある、ドイツ政府代表、各國大公使は座席の第一列、加藤滿洲國通商代表は各國通商代表、領事等とゝもに第二列に着席した

出席者

の主なる者は

△ドイツ側　ゲエツペルス宣傳大臣代理フンク宣傳省次官、ギユルトナー司法大臣、コツホ東プロシヤ州知事、ドイツ國第一軍團長キユツヒラー陸軍大將、第一空軍長シユクインハルド空軍中將、それから滿洲國に關係の深いリツベントロツプ大使、事務局長ラウマー博士、在ポーランドのモルトケ大使その他

△日滿側　加藤通商代表、石坂通商代表部員、森田交通部鐵道司長、半田大同學院教授、鹽田滿洲特產中央ベルリン駐在員、北村正金銀行漢堡支店長、吉田三井物產漢堡支店長、安永中銀ベルリン駐在員、滿洲電信電話會社の中井、金澤兩氏等

式は正十時四十五分ケーニヒスベルグ市管絃樂團の音樂吹奏に始まり、見本市總裁ケーニヒスベルグ市長ヴイル博士起つて先づ來會者に對する感謝、ドイツ東方見本市の略歷に加へ總統ヒトラーの決然たる政策によりまさに死に瀕してゐたドイツ經濟界の更生とゝもにケーニヒスベルグ見本市の向上發展して來た實情を述べ、次に滿洲國、ハンガリー、エストニア、リツアニア諸國の第二回參加、イタリー、スエーデンの第一回參加に對する感謝の意を表して、最後に見本市內容の說明をなし今回メツセ參加者の成功を祈ると結ぶ、つぎにフンク宣傳省次官登壇し、東プロシヤ出身であるフンク氏は大戰の結果波蘭廊下により母國と切り離された東プロシヤ州の政治的經路、ナチ政府の統制下にある獨逸東方見本市の國際意義を述べ「農業國若くは原料國と加工工業國である獨逸國との間の通商促進を計らんとするは當市見本市の一目的である、ケーニヒスベルグ見本市參加國と獨逸國との

通商額

は昨年上半期において五億五千八百萬マルクなりしに對し此年上半期は六億六千七百萬マルクとなつてゐる、ベルサイユ條約の爲めに植民地を奪はれ諸工業原料に缺乏する獨逸は統一ある努力の下に萬人刻苦勉勵以てよく四年計畫の目的を果し獨逸國民引いては世界人類に幸福を齎らす樣努力すべきだ、今回メツセは此の努力の一里塚ともいふべきものだ」

と結び最後にコツホ東プロシア州知事兼ナチ黨東方支部長登壇し、祝辭に代へて國民の運命は經濟によるに非ず政策によつて司られるものである病める政策を持つ國の經濟界は衰微を免れざるに反し强固なる政策に立つ國民は經濟界の繁榮を喜び得るのである、この意味においても破壞的共產主義政策は吾人の不倶戴天の敵である、ドイツは內にありては世界の平和を害するボルシエビズムを根こそぎ絕滅したと述べ、ヒトラー政府成立以來のドイツ全國および東プロシア州の經濟的發達の狀態を數字に表はして詳述し最後にコツホ氏の發聲にてアドルフ・ヒトラーの萬歲を三唱して式を閉づ

一時間

休憩後市廳玉冠の間においてケーニヒスベルグ市長ヴイル博士主催の晝餐の宴あり、招かれたる者は各國代表、內外新聞記者など約二百名、市長の挨拶に答へて來賓一同に代つて駐獨波蘭國大使リプスキー氏謝辭を述ぶ

盛大な獨逸東方見本市の開會を視する筆者の言葉に對しヴイル市長は懇懃な態度で滿洲國の參加されたことは東方見本市にとつて偉大なる喜びであり滿獨親善に寄與することの尠からざるものあることを信じて疑はないと述べた（ケーニヒスベルグにて　玉置徐步）

滿洲軍惜敗
對慶應蹴球戰　4―2

【東京國通】第三回日滿蹴球交驩試合第二戰滿洲國對慶應戰は廿日午後三時四十分から日吉臺の慶應競技場で擧行、先蹴滿洲、審判野村、村方、福田三氏、兩軍のメンバー左の如し

	FW	HB	FB	GK
滿洲國	高賓現趙　學鴻正憲　譚郭李浩	良逸瑞　吉洙國　張鄭李	富球　永寶　鄧蔡	王國璋
慶應	太田　小畑　二宮　幡磨	篠崎　松本　石川	高島　乙骨	津田

△經過

△前半　滿洲キツクオフの球を慶應奪ひ左から中央右にながす球を幡磨突込んだが滿洲レフト、バツクとの見事なタツクルに潰さる、八分滿洲猛然と攻勢に出で李正現中央線あたりから大きく逆サイドへパス、レフトウイング譚受けて邁進、慶應のゴール前に飛球を返へせば津田飛び出してフイスティングしたが、ミート惡くゴール左前に落ちるをライトウイング趙ヘツデイングで折返しセンターフオアワード郭これをひつかけてゴールインし一點先取す

滿洲軍この日の潑剌さは對早大戰とは見違へるばかりでよい球を兩翼へまはして鮮かなオープニング戰法を示した、慶應はこの思はぬ得點に幾分あせり氣味の攻擊を續け二宮は幡磨との連絡惡く、シユートにも正確さを失ひ、滿洲軍ゴールキーパー王の美技に苦しめられたかくして兩軍はその後中央線を挾んで一進一退の戰況だつたが、卅七分慶應の幡磨中央線あたりから篠崎と好連絡して進み篠崎の送球が滿洲ゴールの前に落ちるを小畑鋭く突込んで左隅にゴールイン、一對一となるこれに勢を得て慶應ハーフタイム直前太田、小畑と渡つた球を二宮右隅にシユート、ゴールなり慶應リードしてハーフタイム

△後半　兩軍疲れを見せたのか動き鈍く一進一退を續けるうち廿五分滿軍李國瑞から放つた長蹴は慶應のゴールを越え（?）フリーシユートを敢行したが惜しくも右ポストをかすめて外れる、一方慶應も廿九分チヤンスあつたが蔡の好防に阻まれる、卅四分李國瑞ライトウインゲよりのパスで攻め、張の返球慶應のゴール前に落ちるを譚飛び込みヘツデイングできめて二對二となる、慶應奮起して攻めるも滿軍守備固くそのまゝ終るかと思はれたが四十三分および四十四分と慶應の物凄い逆襲に滿軍防ぎ切れず續いてゴールされ結局四對二で滿軍惜敗す

慶應 4 ｛2―1、2―1｝ 2 滿洲軍

△ゴールキツク　滿二五、慶一六

△コーナーキツク　滿六、慶四

△フリーキツク　滿二、慶五

帝大雪辱
慶帝二回戰　4―0

【東京國通】慶帝二回戰は帝大先攻四對〇で帝大勝つ

△スコア

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
帝大	0	0	4	0	0	0	0	0	0
慶應	0	0	0	0	0	0	0	0	0

0―4

家庭

果して遺傳するか？　結婚へ繋がる―精神病の鎖―
外傷性のは遺傳しない！

優性　結婚に對する理解認識は一般に非常に深められてきた傾向がありますが、同時に一方では何ら遺傳病でない病氣まで遺傳するものゝやうにあやまり、このため折角の婚約を破棄されたといふやうな悲しい話を方々できゝます。ではどんな病氣が遺傳しどんな病氣は遺傳しないかこれに對する正しい知識をもつことは結婚時代にあるものにとつて何よりも必要なことです。これで一番問題になるのは精神病です。この病氣は一般には全部遺傳するものゝやうに思はれてゐますが、さうとばかり限つてゐません。まづ遺傳する方からいひますと精神乖離症、ヒステリー、躁鬱病などがあります。

精神乖離症　は各種の精神病を通じて一番多く劣性遺傳をします。

ヒステリー　は女に多いので女だけの病氣のやうに見られてゐますが、これは伴性遺傳をするからですが、男にもないわけではありません。これは優性遺傳をします。

躁鬱病　もヒステリーと同じやうに優性遺傳なので、その父なり母なりがかゝつてるとその子には必ず現れてくる。

麻痺性痴呆　は梅毒によつて胚子細胞が破壞されその結果こどもに低能兒が出たり、十七才二十才ごろになつて麻痺性痴呆が出てくる場合があるが、これは原因が梅毒にあるのでこどもの出來ぬ以前にこの病氣の治療をすればよい。

以上は遺傳する精神病ですがこれに反して外傷性の精神病は遺傳することがありません。之は頭部などに外傷をうけ發作的に起つた精神病であつて、その傷害がふたゝび健康にかへるものですしたがつてさういふものが家系にあるからといつておそれることはちつともない

これについて私は最近**一例**を知つてゐます。ある娘さんでしたがその父が精神病だといふので婚約が破棄されようとしました。そこで娘さんが私のところへ相談に見えましたので調べたところ父の精神病といふのは高い所から墜落し一時性精神病を起したので、その家系を三代までしらべましたが何ら精神病ならびに神經病の素質は認めませんでした。これが明かになつて娘さんは晴れて結婚することが出來たのです。以前私は「愛の嗚咽」といふ精神病を取扱つた映畫を見ました。歐洲大戰に出征した男が

砲彈の衝撃を受け精神に異狀を來して病院にいれられそれから十五年たつて男は病院をにげ出して家へ歸る。家では出征の際まだ幼兒だつた娘が大きくなつて結婚しようとしてゐる。また自分の妻も精神病者とは離婚出來るといふ新しい法律によつて離婚し他の男と結婚しようとしてゐる。そこへ男が現はれ、またその後を追うて來た精神病院の院長が娘に父は精神病であると話す。妻は病氣の夫をすてるにしのびず他の男との結婚を斷念し一生をもとの夫に仕へようと決心する。娘は父が精神病者であることから遺傳の怖しさを想ひ浮べ愛する男との結婚を思ひきる。

さういふ物語りですが、この映畫では娘が外傷性の精神病を遺傳するやうにいつてると こゝにあやまりがあつて間違つた考へを見るものに植ゑつけるおそれがあります。また一方精神病の夫には斷種法を實行すれば遺傳の危險もなく一向さしつかへないわけですこの映畫のやうな問題はつねに起るもので、この場合妻の立場にあるものにとつてはもう一歩進めてその家系を救ふため斷種法をする。さうして第二には娘を何ら遺傳質のないものと組合せて結婚させ、その娘、その子孫の將來を**幸福**にしてやるのが本當だと思ひます。外傷性の精神病はさういふ風に治りもし、遺傳もしませんが、然し之には割合起しやすいものとさうでないものとがあり、大體神經質の素質のものは起しやすく、またこの神經質自身は優性遺傳をするものと考へられます。しかし神經質は精神病ではなく、おそれることはありません。結婚にはさういふ點をよく理解して頂きたいと思ひます。

料理獻立
はぜの昆布巻

よくお彼岸のはぜは藥になるなどと申して特に珍重されますが、恰度味がのつて美味しくなるときでございますし釣りの獲物も多うございますからけふはこのはぜの昆布巻を申上げませう。これはもちまわし辨當のお菜にもよろしうございます。

【材料】

小はぜ	三十五尾
青板昆布	五、六枚
干瓢	一〇匁
酒	五勺
酢	半勺
煮出汁	三合
醤油	三勺
砂糖、鹽	

青板昆布は一晩水につけて切り、燒小はぜを巻き干瓢でしばり水、酒、酢で煮、後に煮出汁、醤油、砂糖、鹽を加へて煮つけます。

お母さん讀本
赤ちゃんのお耳の衞生
大切な耳垢のとり方

極く小さい赤ちゃんにあつては耳くそが多くて耳の孔を塞いでこれに氣づかずにゐる時は、丁度つんぼのやうに耳が聞えなくなるといふことさへあります。また、特に耳垢がねばく／＼して、耳だれといふほどではなくとも、いつも流れ出すほどに溜る場合は、始終注意して、やはり鼻づまりの時の様に、脱脂綿の棒で、上手に拭き除つてやらなければなりません。分泌物が大變多くて、異臭のあるやうな場合は必ず耳の中に故障があるのですから是非とも、その手當をしなければなりません。一番**手輕な**方法は、オキシフルを脱脂綿の棒の先にちよとつけ、綺麗に其分泌物を拭ひ除つてやることです。勿論重いときには、醫師の手當が必要であります。これは、入浴のときに、耳に水が入つたりあまり泣かせて涙が流れこんだりしたゝめに、外聽道炎や中耳炎を起してゐるものなのです。

耳垢のとり方は醫師の使ふ針金製の綿棒も、上手に用ひることができれば悪くはありませんが、赤ちゃんが一時もぢつとしてゐないのと、大人と違ひ粘膜が非常に弱いのとで、やゝもすると傷をつけ、耳の病氣を惹き起すことが多いのですから脱脂綿の棒が一番安全です。柔かくとも堅くとも、いつも氣をつけてできるだけ綺麗に除つてやることが大切で、時に固まつて附いてゐるやうなときには、オリーブ油などで、先に柔かくしておいてから除れば、わけなく除れるものです。大體この鼻や耳のお掃除は、入浴させたときにするのが、一番工合がよろしいやうです。

ラヂオ　けふの番組
【M・T・O・Y 新京放送局】廿二日（水曜日）

「朝」
六、二五　ニュース（東京）
六、三〇　ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
六、五〇　初步滿洲語講座（大連）講師　秩父固太郎
七、一五　朝の音樂（大連）
七、四五　建國體操
八、〇〇　氣象通報

「晝」
九、〇五　經濟市況（東京）
九、三〇　經濟市況（東京）
一〇、〇〇　家庭講座（奉天）健康増進の秋　奥　勝久
一〇、二〇　料理獻立
一〇、三〇　家庭メモ
一〇、四〇　經濟市況（大連・新京）
一一、三五　經濟市況（大連）
一一、四〇　經濟市況（東京）
一一、五九　時報（東京）
〇、〇五　晝の演藝（奉天）絃樂合奏　奉天絃樂合奏團　指揮　今井　操
一、絃樂四重奏第六番より　アレグロ　モーツアルト作曲
二、サラバンデ　バッハ作曲
三、メヌエット　ボッケリーニ作曲
四、アヴェ・ベルム・コルプス　モーツアルト作曲
五、フーガ　モーツアルト作曲
〇、三〇　ニュース（東京・新京）
一、〇〇　經濟市況（大連・新京）
三、〇〇　經濟市況（大連・新京）
三、四〇　經濟市況（東京）
四、〇〇　ニュース（東京・新京）
四、三〇　ニュース（東京・新京）
四、三五　天氣概況
五、二〇　ニュース（鮮語）
趣味講座（鮮語）婦人の美容法（一）　李　台雨

「夜」
六、〇〇　子供の時間（奉天）お話　輝く優勝旗　武田喜平
六、二〇　コドモの新聞（大連）
六、二五　商業常識講座　新京商業學校教頭　原島省吾
七、〇〇　ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇　國民協力週間第一日（東京）國民精神總動員に際して
八、三五　ニュース・スケッチ（大阪）
八、五五　思ひ出の軍歌集（大阪）永井建子作品集　獨唱　川崎　豊　齊唱　マドリガル合唱團　ピアノ伴奏　大阪ラヂオオーケストラ　解説指揮　永井建子
九、三〇　時報・ニュース（東京）氣象通報・ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
一〇、一〇　ニュース再放送
一〇、三〇　北滿の時間（哈爾濱）
一一、〇〇　滿語ニュース・講演・音樂　アナウンサー　宮岡（朝）上森（晝）佐藤（夜）

「思ひ出の軍歌」（後八・五五（大阪））
獨唱　川崎　豊
齊唱　マドリガル合唱團

永井建子作品集

一、齊唱　元寇
一、四百餘州を擧る、十萬餘騎の敵、國難こゝに見る、弘安四年夏の頃、なんぞ怖れんわれに、鎌倉男子あり
二、多々良濱邊の戎夷、そは何蒙古勢、傲慢無禮者、倶に天を戴かず、いでや進みて忠義に、鍛へし我がかひな、こゝぞ國のため日本刀を試し見ん（以下略）

二、獨唱　月下の陣
一、霜の篝火かげうせて、木枯ふくや霜白く、夜は更け沈む曠野原、駒も蹄をくつろげつ、音なく冴ゆる冬の月、梢をしとねのものゝふは、明日をも知らで草枕、夢は何處をめぐるらん
二、晝の戰ひ烈しさに、當るを得手ときりまくり、思ふがまゝの手柄して、今宵は此處に宿り木の、身はまた解かぬ鎧下、上ゆく雁に夢やぶれ、そゞろに見やる故郷の、雲井はるかにかゝる月
三、國を思へば雄心に、家は忘れて魂きはまり、たゞ身一つをなき數に、入る峽の山の月影を、水に掬ひて明日はまた、刀の目釘つゞくまで、腕によりをば懸け襷華々しくぞ戰はん

三、齊唱　敵の遁足
一、日の御旗ひらく／＼と懸軍いつしか海をこゆ、鷄林山河とゞろと震ひ、敵膽なし影も（チャンチャンは全敗ぞ、遁足しどろにワッハッハ）括弧内以下同じ
二、明け空や成歡にむれ飛ぶ鳥やさわがしや、ズドンと一發見舞ひが目まひ、（ハヤ牙山もガラリ）
三、敵將は太ッ腹名譽の軍旗も置き土産、瀟洒恬淡武人の襟度、死ぬ氣概はなきや
四、逃げのび敵には、頼りし天險平壤や、頭かくして尻かくのごとく、さて天佑いづく
五、知らぬこそ佛かな、前夜をうつかり月見酒、風流三昧糸竹のうたげ、呐さめては夢か
六、背水の陣やそも落ちゆく間際の言譯か、見返るうしろは大同江、その深さを問はん
七、川越えて山にそふ獅子奮迅の日本兵、牡丹台とはみの名にめでて散る心ぞゆかし
八、さす傘も提灯も手にとるいとは、泣く／＼卅六計逃げて行くあと野も見ず山も
九、追ひゆかん何處までも、九連奉天間近！連戰連勝たゆまず進み踏め北京の土を

四、行進曲大和尚山（一名マルシュ・ポコペソナ）大阪ラヂオオーケストラ

五、獨唱　露營の夢
一、露營の夢を土城子に、結びもあへず夜の霜、とけかゝりたる革帶を、締めなほしつゝ起ちあがり、明け殘る月影に、前を望めば水師營、砲壘高くやまく／＼を、連ねて待てる旅順兵
二、待ちに待ちたる此の朝を曉期となしてわれ進む、砲煙彈雨注ぐその中を、縱橫無下に駈けめぐり、突喊なせば忽ちに、難なく陷つる敵の砲壘
三、逃ぐるが勝ちと敵兵が、振向く後に日本刀、前はすなはち渤海の、船路あやふく危くも、跡白波と落ちゆけば、またも射ち出す村田銃、窮鼠却つて猫を喰む、力もいかであらばこそ
四、彼が金城鐵壁と頼みきつたる砲臺も、端なく落ちて傲頑の支那も眠りや覺めにけん夜寒を語る曉の、風こゝちよく靡へる御旗仰げば尊くも、大日本の旅順口

六、齊唱　雪の進軍
一、雪の進軍氷を踏んで、どこが河やら道さへ知れず、馬は斃れる捨ても置けず此處はいづくも皆敵の國、まゝよ大膽一服やれば、頼みすくなや煙草が二本
二、燒かぬ干物と半煮え飯にたまに命のあるそのうちは堪へ切れない寒さの焚火、けむい筈だよ生木が燻る、澁い顔して功名話、すいといふのは梅干一つ（以下略）

七、齊唱　藤は散り敷く羅店鎭（新作）
一、闇夜ゆくやハタと出會ふ我も知らず彼もまた、霧氣異變敵の移動、長蛇夏草流るゝ星影
二、敵は數百我は僅、機はせまるたじろがじ花と散らん國のほまれ、いざや勇躍雄たけび滿進
三、こゝを先途兜をぬぎて、旗けち巻き、朝日の出、斬つてまくる三個部隊、突破怒濤やあたりは血しぶき
四、夢は淡し羅店鎭や、夜半の風にはな藤田、色香無慘今朝は散りて、榮えは鍵き千載かぐはし

戰争文學
―何故傑作が尠いか？―
園田端

文學は、一般的に云へば、社會の大きな轉換とをテーマに選ぶことが出來る際に偉大な力强ひものができる筈である。そして戰争はまさに、殆んどさういふのうち最大なものである。だから戰争をテーマにした文學は多い。しかしそれが文學のテーマとして絶好のものであると思はれるにも拘らずそれを取扱つたものに傑作の少いのはどういふ譯であらうか？

それは先づ第一に戰争と云ふものが、政治的經濟的文化的諸條件の巨大な集中と摩擦の現象であり、從つてそれを全面的に正確にとらへることが非常に困難だと云ふ點に横はつてゐる。戰争を取り扱つた文學の大部分のものは、この點で致命的な欠陥を持つてゐるために大文學とはなれないのである。第二には、戰争といふ現實が、到底想像の及ばぬやうな苛性な、深刻な體驗の積重なりであり、みづから體驗しないで、想像だけでは企及し得ないものであるからだ。さればこそ、戰争を取扱つた文學には作家的修業を持たぬ體驗者のルポルタージュの方が、體驗を持たぬ專門的文學者の作品よりもづつとすぐれてゐる場合がしばしばあるのだ。

□

第三には外的内的の諸條件からこの巨大な現實を充分に客觀的批判的に取り扱ふことが容易に可能でない、といふ事實がある。四十年、五十年或ひは百年を經てもなほ外的條件が、それを充分に批判的に取扱ふことを可能にしないといふ場合が殆ど普通である殊に戰争と云ふものは、最新の科學の總動員の上に成り立つてゐるし、社會構成の全部が關與してゐるので短い時間の經過も、大きな變化を持ち來すものだから、一層である第四には、戰争といふ現象は經濟的に云へば巨大な消費を必要とする現象で、當然それは文化を育て養ふための生活の余裕を狹めざるを得ない現象だと云ふことである。これはただ經濟的な余裕ばかりでなく、氣持の上の余裕をも含めてである。

戰争が激烈なものであればあるほど經濟的の余裕ばかりでなく、思想、感情の余裕も失はれまたは統制されることとなからう。

□

かういふいろいろの事情から絶好のテーマであるにも拘らず傑れた戰争文學は容易に生れない。これからの戰争は、大規模な人間の全生活を引つ下げての總動員的な戰争である筈なので、嘗てこの戰争の場合のように作家といへども政治的經濟的諸事情に全く無關心で過すことのできる者は殆どゐないだらう。だから彼等が、すぐれた戰争文學の生み得ないといふ事情は、上述の諸原因から來てゐるのであることに作家の矛盾があり、苦惱がある。

學藝消息

△林一夫氏　事變に依り所屬臨葉柏壽に移駐、鐵道警備に當つてゐる
△外山卯三郎氏　「世界知識」十月號に「藝術からみた熱河」を執筆

ダ・ヴインチ賞
規定の變更要望

今春來朝した日伊交換教授ローマ大學教授ジュスペ・トツチイ博士の斡旋により設定された「レオナルド・ダ・ヴインチ賞」の授與規定について伊太利政府及び學士院に於て協議されてゐたがこの程漸く決定を見、日伊學界に通達されて來たがそれによると

一、論文締切は一九三八年十二月末日とす
一、論題は一八七〇年以後の伊太利に關するものなること
一、論文審査委員會は駐日伊太利大使（議長）及び他文化、政治、經濟を代表する三氏により組織せらるゝこと
一、賞金は千百圓とすること

等が核心となつてゐるが、日伊學界では豫期してゐたものとは大分食ひ違ひがあるのに驚き早速理事會を開き伊太利學士院に對しその變更を希望する點を忠告の形式で電文により交渉することに一致した。日伊學界で希望する點は大體次の如くである

一、應募論文以外のものでも伊太利文化に對し貢獻する所多大なりと認められる論文は之を審査じ得るものとせられたきこと
一、論題は一八七〇年後に限られざること
一、審査委員を擴充されたきこと

伊太利側に於ても之等の意見に對しては相當考慮を拂ふものと思はれるが正式の決定は本月中に發表せらるゝ模樣である

新刊紹介

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御寄附相成度し（係）

△在滿朝鮮人通信（三十六號）事變に關する記事多くを盛る、大野總監の放送原稿たる「今次事變に現れたる朝鮮同胞の赤誠」は一讀すべきもの（奉天彌生町四四、興亞協會辨事處、十五錢）

△大連商工會議所々報（九月十五日號）（大連市敷島町八二、大連商工會議所、十錢）

△正金週報（九月十日號）亞國に於ける英米合辦人絹系製造工場の建設、七月本部貿易の數量並に單價統計を收録（横濱正金銀行調査課）

△滿洲評論（九月十八日號）滿洲事變六周年記念號として橘樸、小山貞知、岸田英治、土井章、岩井龍海五氏の支那事變に關する論文を收めてゐる（大連市大場東拓ビル、滿洲評論社、十五錢）

△殉職卒業生事蹟綱書　二十六人の中央警察學校出身殉職者についての記錄集（新京市南嶺、中央警察學校々友會）

△滿洲公論（九月號）南山隱士「公論縱横談」長白山人「日清戰役の回顧」等の外、文總欄には島田幸人追悼の諸篇を盛り注目さるべきものがある、岡二郎君の活躍も見るべきであらう（大連市紀伊町九、滿洲公論社、五十錢）

△伊斯蘭旬刊（九月十日號）滿洲伊斯蘭協會の機關誌、諸記錄を盛る（新京市長通路、滿洲伊斯蘭協會、月二角）

△鐵調査月報（九月號）尾崎五郎「綿紡織業を通じて見た支那民族工業の現段階的特質」高發虎雄「ナチスの信用統制の檢討」石井俊之「支那に於ける經濟復興運動」「北滿に於ける纖維工業の現狀」等雄篇を盛つてゐる（滿鐵産業部資料室、五十錢）

富士（臨時增刊號）

◇九月十五日發賣の「富士」臨時增刊號は、六二四頁の豪華版、例によつて全部讀切の傑作づくめである。◇「吼える蝦蟇」野澤純「千人針」弘木丘太「勇士の母」加藤武雄「愛の進軍歌」竹田敏彦「曲藝師寅吉」川口松太郎の諸篇、それに「金語樓陸戰隊」柳家金語樓「鐘崎三郎」一龍齋貞心の二篇を加へてゐる。◇實話は全部事變關係で占めてゐるが、北支南支の戰線に咲く軍國美談四篇、何れも感激に充た好讀物揃ひ。◇此の外に讀物としては「愛の廻轉路」廣津和郎「火紋」白井喬二「女たちの心」淺原六朗「千萬兩裸人足」原纖一「戀の火術」野村胡堂「かな書名號」神田越山「胸の帆船」橋爪健「軍配曇りなし」鈴木彦次郎「次郎長道中金百兩」長谷川伸「小言念佛」三升家小勝「男の火花」添田さつき「媚態藥人形」邦枝完二「米俵」村上浪六「にゆう」三遊亭金馬「富江と三人の男」甲賀三郎「猿ケ京片耳傳說」國枝史郎「百萬圓百戰」佐々木邦「廓の人氣男」木村毅「血染の暗號圖」海野十三「木村岡右衛門」小島政二郎等々。

婦人倶樂部（十月號）

◇「雜誌週間」記念の婦人倶樂部十月號は、「毛糸編物大全集」「基礎編みと編物用配色」「毛糸編物目數割出し器」の三大附錄を添付、大々的サービス號としてゐるが、折柄の事變勃發に「出征兵士慰問品贈呈大懸賞」をはじめ事變關係特輯の讀物か、更に加はつて見るからに老大なる超特大號となつてゐる。◇第一附錄編物大全集は、四六倍判、カード式になつてゐるが、昭和十二年版と銘打つたのは、一切新しく編出されたものとの意味であらう。新しいことを生命の編物本ではこれは何より大切なことである。◇本誌の主要讀物を一瞥するとまづ事變ものでは「天津國防婦人會と從軍記者の陣中座談會」吉川英治氏の「南口戰線の陣營から」が、まづ大物としてあげられよう。◇其他、護國の花と散つた勇士遺族の弔問記、武藤貞一氏の「時事問題早わかり」通州事件の犧牲者の遺兒訪問記、其他、女性の立場と事變の關係下に、必要な批判と解說はすべてを網羅してゐる。

バクゲキ
S氏に一言
「滿洲の擁護」を讀んで―大新京日報、吸取紙―

「廢退に耐へ、粗食に吟んずる情熱」が文學に於ける一つの公式であり、曾つて以前唱へられた文學理論のあるものであつたとS生は言ふが、曾て以前唱へられたとはどこの國のことであるか？、將來に向つて夢のやうな樂觀論を歌ふS生の「滿洲の文學」に就いての認識はお粗末な常識の範圍を出でない。私のあの文章はS生の反駁したやうな勝手な解釋を許すものでない。「滿洲の擁護」の一文は僅かに一つの見識を示すものではあらう。而して又何たる平俗さ加減！此の國に於ては文學に對する「情熱」さへも傑かされてゐるといふ事を吾々は痛感してゐる。それを馬鹿げた杞憂であると言ひ、今ごろ批評精神などを說くS生は、徒らに熱つぽい論を好む未だ小兒である。（千刈蓬彦）

蘇々亭日録
桃北好澄

アパートの五階に引越した多仕度のつもりであつたが却つて風邪をひいた。

それから、泉義雄が二年餘も住みなれた古巣を引拂つて私の窓の眞向ひの三階に移つて來た。泉の室代は二十四圓、私の室代は二十圓であるが同じく四疊半であることに變りはない。私はこのアパートではい先輩であるため四圓だけ安い部屋に住む優先的待遇を享受してゐるわけでその點泉義雄を氣毒がつてゐる。然し又、泉と顔を合はすたびに四圓だけのひけ目も感じてゐることも爭へない。泉も左樣であらうかと考へるのだが彼はそんな微細な點にまで考へが向かぬ性質らしい。

私はアパートの先輩であるために何かと泉について氣苦勞をするのである。おのづから眼は三階の窓を眺め（いや睨むといふた方がいいかも知れぬ）、彼はいま何をしてゐるのであらうかと案ずるのである。時には泉も窓のところに立つて睨んでゐる、すると私は無關心を裝つて新聞紙で窓ガラスを拭く動作をする、恰もそれをなさんがために窓に立つてゐたかのやうに―

「なァんだ！、窓を拭いてゐるんか」

泉が窓から微苦笑を洩らすのである、幾分高い微苦笑を！而し私は、ふんと曖昧な返事をして取合はない。私は彼より四時間ぐらゐ一日の生活が遲れてゐるので、彼をいつまでも窓に立しておいてはいけない。だから、私の部屋の窓邊に突立つて睨んでゐても泉が仲々立ちあらはれないことがある。「どうしたのか」と後できくと「なに夕べは早く眠つてしまつたよ」、又は睡つてゐる彼の部屋を睨み作ら、泉の奴新短歌でも書いてゐるんだらうと忌々しがつてゐたのである。

泉義雄は新居にわれわれを招待して引越披露をやつた、醉ひ潰れ乍ら

今村榮治曰「小說書かんくせにやつゝけるのはいかんと思ふよ」

泉義雄曰「小說を書く奴は書き、批評する奴はするさ、批評する者が必ず小說も書かなくちやたらぬといふのは誤謬だよ」

今村曰「わしはさう思ふよ」

泉曰「わしはさう思ふよ」

醉つてゐるから結論だけ言つてゐた。今村榮治は小說を書かぬ批評家先生から叩かれた經驗を有すかに見え、泉は小說を書くよりもやつつけたい方であるらしい。

さういへば、今夜は私の新作を讀了して言ふことに

「今度はすらすら纏つてゐるではないか」

同情だけ言つて褒めはしなかつた。

泉も私も、凡ゆる反抗の精神に同情することに於いて後れをとらぬ性分ゆゑ、彼が近くに來て大いに語るところあるわけである。

○

お前に何が出來る？お前は一人の女を愛す事さへ出來ないではないか、お前に何が出來る？（芥川龍之介）

左樣、私は一人の女を愛す事さへ出來なかつた、今も出來ない。私は今は、「おゝ神よ」とも祈らずに、睡くなつたから寢るばかりである。（九、一九）

非常時の秋！

愛兒を持つお母様方の御責任はひとしほ重大です！

弱い兒は強く丈夫に病氣させぬやう——

育兒に萬全を期すると共に突發的な悪疫諸病には宇津救命丸を備へて愛兒をお護り下さい！

秋は健康の收穫時と言はれます。しかし夏に傷められた胃腸は未だ充分に回復して居りませんし、腸炎や疫痢は却つて秋冷季に多いものです。寢冷え、食べ過ぎ、偏食に注意するばかりでなく、一歩進んで宇津救命丸の常備による、胃腸と呼吸器の積極的健康工作を御實行下さい！斯くてこそ始めて健康增進の輝ける成果が收められるでせう。

宇津救命丸は和漢薬を主剤とせる定評ある小兒健康薬で、救急治病の卓効を持ち、特に悪疫を防ぎ、小兒の抵抗力を強め、胃腸と呼吸器を丈夫にする作用がすぐれて居ります！

主効・疳・虫氣・消化不良・緑便
ヒキツケ・チエ熱・風邪・夜泣き
胎毒・百日咳・虚弱兒の強壯化に

〔藥價〕廿錢・卅錢・五拾錢より拾圓まで各種　全國の藥店百貨店藥品部にあります。

定評ある小兒健康藥

宇津救命丸

總代理店　株式會社　玉置商店　東京・大阪

病室新設　日本赤十字社救療所

内科　性病科　花柳病科　肛門病科　入院隨意

筈元醫院

新京ダイヤ街老松町　電話③五六一六番

國都近傍ペストに鐵壁防疫陣布く

列車乘込み檢疫、陸路檢疫等 衛生關係應急策實施

黒死病俄然猖獗

新京を距る九十キロの地點二青山屯にペスト發生し現在までの死者十名なほ發生の兆候にあるので新京防疫關係機關では國都に侵入されては一大事と二十一日午後一時から滿鐵支社會議室にペスト防疫會議を開き防疫の鐵壁陣を布くことになつた、集るもの

關東軍々醫部下山中佐、憲兵隊、新京署原口衛生係主任、領警署青木警部、滿洲國民生部黒井博士、首都警察廳磯部博士、滿鐵新京保健所羽生秀吉博士、滿鐵支社菅野地方課長事務取扱、宇野地方課長、小石澤公會主任、多田衛生除長、市公署河崎氏其他關係者等にて

勝頭羽生博士より既往のペスト流行狀態並にこれが防疫對策、本年の流行狀態即ち乃吾召死者十三、好來泡子死者十九現患四、前地局子死者二十七現患二、十家子死者六現患一、後鞠字井死者二十五、二青山屯死者十現患一に就き説明をなし防疫對策につき種々協議の結果次の如く具體案を決定直ちに實施することになつた

一、列車乘込檢疫＝京白線列車乘客に對し乘込み檢疫をなすと共に乘車驛からリレー式に新京驛へ乘客の行先宿泊所を通知すること

二、陸路檢疫所設置＝發生地附近より新京に通ずる道路沿道にA、B、C、D、Eの五ヶ所に陸路檢疫所を設け各一ヶ所に滿洲國側警察官四名、監視防疫醫二名、人夫四名を配置し通行人の望診を行ふ

三、檢疫調査＝一班二名より成る調査班を五班編成して市內の支那宿舘棧の檢査を行ふ

四、隔離所設置＝若し列車中にて發生の場合は前後各二輛都合三輛の列車を引込線に引込み乘客全部の健康診斷を行ひ列車の消毒終了まで隔離する

大體以上の方法により約一ヶ月に亘り實施する筈である

北東邊道掃匪に武勳輝く禁衛隊

王少校等きのふ國都に凱旋

滿洲國軍禁衛隊王少校以下百六十七名は、北部東邊道討匪行に赫々たる武勳をたて廿一日午後一時卅分晴れの國都凱旋をなした　驛頭には于治安部大臣、平林軍事最高顧問以下軍民關係者多數が出迎へた王少校の指揮する約二百名の部隊は去る三月初以來北東邊道に派遣され第一軍管區の隷下にあつて禁衛隊最初の出陣をなし通化、輯安、臨江、撫松、濛江の各地に轉戰、治安肅正に拔群の功績を樹てたが殊に同部隊の最大の殊勳といふべきは八月初の共產匪討伐である、八月二日夜小南岔東方附近に有力なる紅軍系鮮匪二百餘の蠢動するを探知した同部隊は夜間小流を敵前渡河し全軍ぬれ鼠のまゝ敵中に突擊、得意の夜襲によつて敵に潰滅的打擊を與へた、この戰鬪において禁衛隊側は少尉以下六名の損害を出したが、その遺骨は二十日新京に歸還禁衛隊初の討匪行における尊き犧牲として鄕軍に合祀されることとなつた

郵政歌、郵政行進歌 當選作品發表

作曲は東京音樂學校に依囑

郵政總局に於て募集中の郵政歌及び郵政行進歌は去る六月三十日應募締切以來鋭意審査を急いで來たが、全應募作品一六三二篇（內郵政歌三〇一篇、滿語に依る郵政行進歌三〇六篇、日語に依る郵政行進歌一〇二五篇）の中から當選作として左の七篇を嚴選發表した、尚一等當選作品の作曲は目下東京音樂學校に依囑中である

△郵政歌

二等（一篇）新京特別市西四馬路一條通順十號張鶴春

三等（一篇）吉林高等師範學校學生　張殿岐

△郵政行進歌

一等（一篇）東京市品川區西大崎四ノ八一八　白井進

（一）
五色旗の下　潑剌と
興せ、郵政　大滿洲
電波とともにいざわれら
通信網の　動脈を
伸ばせ、八萬　平方里

（二）
躍進の意氣　颯爽と
示せ、郵政　大滿洲
銀翼、燦と　まつしぐら
ダイヤグラムの　全能に
翩け、滿日　航空路

（三）
五族の樂土　和やかに
結べ、郵政　大滿洲
使命たふとき　遞信の
サービス奉仕　明快に
築け、國家の　繁榮を

（四）
東亞の天府　旺然と
光れ、郵政　大滿洲
世界をつなぐ　協力の
郵政事業　勵みつゝ、
謳へ、平和の　新世紀

二等（二篇）双陽縣立縣城南兩級小學校教員　閻振綱

同　廣島縣賀茂郡廣村字石內　田中三市

三等（二篇）吉林師範學校　李慶餘

同　兵庫縣尼崎市長洲大門五　阪中兼太郎

波打つ銃後の熱誠

千振鄕第二次移民團からも 關東軍に慰問獻金

暴戾支那軍の膺懲に起つた皇軍の活躍は全支に亘つて華々しい戰功を輝し國民銃後の熱誠は益す旺んなるものがあるが北滿開拓の使命を帶びる千振鄕第二次移民團は全移民に魁けて過般の水害にも拘はらず廿一日金百圓を慰問金として軍司令部に獻金し軍當局を感激せしめてゐる

銀紙献納 八島校自治會

八島小學校生徒によつて組織されてゐる自治會では支那事變勃發以來防空費獻金のため銀紙報國を計畫同校生徒によつて銀紙蒐集中であつたが最近これが四貫目にも達したので二十一日午後四時自治會を代表して稻村先生と生徒十四五名が右銀紙を持參附屬地憲兵分隊を訪問して〻防空費の一端にもと獻納を申出た、同隊では少國民の赤誠に感激直ちに献納手續をとつた

錦ケ丘運動會

錦ケ丘高等女學校では創立第一回陸上大運動會を二十三日午前九時から盛大に催す、當日は入場、國旗掲揚、優勝旗返還、開會の辭、次いで競技會に移り、全員聯合體操を始め三年の百メートル競走、籠球豫選、綱引等、十四回の全員分列行進は女性の分列行進として時局に相應しいものといへやう、父兄を始め多數一般の參觀を歡迎すると

映畫協會設宴

滿洲映畫協會では廿日午後六時半より新聞雜誌關係その他を曙に招待懇親宴を張つた

謎の求婚廣告の主

遂に新京署で取調べ 正體は？亂飛ぶデマ

最近本紙々上に「十七、八才より廿一、二才迄の淑女を求む」といふ求婚廣告をなし國都の結婚適齡期に達した女性間に一大センセイションを捲き起した事件がありこの求婚者の正體は一體何者か？若しや婦女子誘拐の輩ではないか廣告の內容から察するに或は百萬長者では…等々デマ四方に亂れ飛び人々の揣摩臆測の中に中心人物謎の求婚者は依然として不明のまゝ數日は過ぎ、中には勇敢な超心臟ガールが應募する等問題は益々興味深く擴大して來たので新京署でも放つてはおけず遂に二十一日本署に出頭を求め取調べ中である、一體彼は何者か？、謎のヴエールは一枚々々市民凝視の中にめくられ始め、現在迄判明した事實はこうだ

彼とは本籍熊本縣玖摩郡人吉村九ヶ町、現住所青島上海路二二不動產賣買業富永茂一（五十二）で去る十六日來京東一條通り大和新館三十五號室に投宿獨身のふれ込みで前記の新聞廣告を掲載し求婚應募者を待機してゐたところ不審の點があるので廿一日午前十一時新京署に出頭を求められたものである、二十二、三歳迄の淑女を求めたことより想像しさぞ若からうと思つたがなんと本年五十二歳と言ふ頭髮には既に白髮も交つてゐやうと言ふ男である、彼の話によれば

大正九年無一文で青島に渡りよく困苦と辛酸に堪へて一時四、五十萬の資產も作つたと言ふ、來京後は求婚者に對しての言は十萬圓而し新京署の取調べは現在のところ大連に一萬圓を所有してゐるもので財產の程度もいかゞはしいものがあるとの事である

財產に不自由はないが由來獨身で過し家庭的に惠ぐまれないため妻を求めて去月上旬大連に上陸の上同地に於て〃求婚廣告〃を出したが應募者なく失敗に終り去る十六日來京したもので、富永には大正七年以來結ばれた內緣の妻との間には十五歳の不具の男子があり目下大連に居住同市盲啞學校に通學してゐるもので何故若い嫁が欲しいかと聞かれ

二十三歳を過ぎると女は大抵個性が固つて仕舞ふが若い娘であれば自分の思ふ通りに教育する事が出來るからだ

と彼の結婚態度を闡明してゐる所など興味深いが何處迄が眞實か未だその全貌は全く白日下に曝露されてゐない【寫眞は謎の廣告主とその求婚廣告】

五十男の氣持 君等には判らぬ

彼と記者の一問一答

大和新館三十五號室に五十二歳の老齡を以て廿歳前後の娘を求める心臟男富永茂一氏を訪へば正午前、言ふに起きたばかりの寢卷姿で花嫁候補の來訪を待つべく顏を剃つてゐる、朝から好奇心にかられてか花嫁姿に憧れてか、引つきりなしの電話紹介に頰肉のげつそり落ちた富永氏は些か慌てゝゐる樣子が見へる、「求婚する動機は？」との記者の問ひを皮切りに左の如き一問一答を試みた

「自分はこれまで青島で特產をやつて相當の利益を擧げ實業方面では相當鳴らしたものだが家庭的に惠まれないので、こんどの青島引上げを機に結婚して身を固めようと思つて求婚廣告を出したのです」

問　財產は相當あるか？

答　拾萬圓位はある、未だ一度も商賣で失敗したことはなく將來の計畫に就いても種々考へてゐる

問　これまで結婚したことがあるか

答　結婚して三人の子供をあげたが二人は死んで一人は不具で旅順にゐる、鄕里は熊本であるが兩親は既に無く一名の係累者もない

問　旅先で結婚する理由は？相當の商賣をしてゐたなら求婚廣告などしなくても友人か心配するではないか

答　滿洲殊に新京などでは家庭の事情で已むなく來滿した不遇の婦人が多いと考へ從つて結婚するのも容易と思つたから……、この年齡で友人の世話になるのは氣まづい

問　若し適當の相手が見付かれば身元を保證するか、それとも何か證明書のやうなものでもあるか

答　新京に一人親戚に當る者が滿洲國政府に勤めてゐる

最後に「その歳で廿歳前後の娘を望むとは年齡に餘りの差があるではないか、三十歳位の婦人でも良いではないか」との問ひには少々顏面を紅潮させて「それは僕の理想で君等には判らない」と苦笑してゐた

問合せ何れも歳聞いて怒る

心臟ネ……旅館の女中語る

大和新館に訪れ謎の男の正體を係りの女中に訊ねると次の如く語つた

一日に多い時は十幾度も求婚の問ひ合はせが電話でありましたその度每に歳はどれ程かと問ふので宿帳に書かれてある通りク五十二才ですと答へると必ず極つた樣に馬鹿にするなとか、そんなとこに嫁に行けるかとか云つて即座に斷つて仕舞ふのが多い樣でした昨夜などはダンサー風の女の方が二人連れで訪れ、新聞廣告をみて參つたものですがお取次お願ひ致しますといつた後で小聲で歳はどの位でせうかとたずねますので正直に答へますと「まあ！馬鹿にしてるわ」とさもあいた口がふさがらないといつた樣子で歸つて仕舞ひました、その裡に宿の客にもこのことが知れ「どんな男かね」と聞かれたりほんとに大變な騷ぎよ、晝は大抵外出してゐた樣でした、あんなお歳で若い娘を嫁さんに貰はうなんて一寸ねーえ心臟が强過ぎやしない

保稅倶勝つ

13A—3 對鑛業開發戰（準硬式野球六日目）

本社主催準硬球野球大會第六日鑛業開發對保稅倶樂部戰は二十一日午後四時半より西公園球場に於て森川（球）津田橋本、藤田（壘）四氏審判のもとに鑛業開發の先攻で開始された、鑛發試合開始早々一番打者西田三失に出で次いで福永の右越二壘打に生還一點を先取したが以後打擊振はず守備の過失多く十三A對三の大差で破れた、閉戰六時二十五分

スコアー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
鑛發	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3
保稅	3	1	0	5	1	1	0	2	A	13A

13A—3

メンバー

鑛發
二中遊投捕左右一三三
西福矢山前前中佐佐大
田永野根川岡尾藤渡竹

保稅
遊中三投右捕二二一七
田三杉古熊西細羽會淺
中輪田賀谷　井場出見

なほ二十二日は午後四時半より一勝者交通部對金融合作社戰が行はれる

ハンデキヤップトーナメント 第四日目

本社主催ハンデキヤップトーナメント第四日シングル戰は二十一日午後四時半より中銀コートに於て擧行された、二回戰三回戰と回を追ふにつれ試合は愈よ佳境に入り人氣を沸かしたが第三回戰の成績左の通り

片山 8—6 10—8 江口

片山君よく江口君に喰ひ下りねばり强く約二時間の接戰で江口君の惜敗

大竹 6—4 6—3 小佐々

兩强豪の顏合はせで接戰を豫想させたが大竹君すごい當りを見せて大勝す

山路 6—2 6—3 玉子當

山路君張り切つた元氣でグンぐ押して大勝

なほ本日はシングルス準優勝戰まで行はれる豫定である

六大學リーグ戰

明治6—2立教

【東京國通】明立第二回戰は六對二で明治勝つ

▲スコア

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
明治	0	1	0	0	1	0	2	0	2	6
立教	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2

2—6

▲バッテリー　明治　清水、兒玉—櫻井　立教　西鄕、小山、石田—町田

フレンソーダ

平本洋行の甲斐支配人あの世帶を背負つて吉野町の新築店舗に乘り出すと云ふのでこの頃の張りきりやうは一通りでない▼朝は七時には店に來て夜は二時、三時になつて家族の寢て居るところへこつそり歸る、おかげで子供と十日も會はんと云ふ精勤振り▼岡田氏もよい女房をもつたもの、この夫婦共に大の野球ずきで店內を野球のシートに分類し仕入部、販賣部と云はずに投手部、捕手部云云といひきびくした野球のチームワークでグンぐ進むといきまいて居る

天氣と氣溫

けふの天氣　東寄の風曇
日の出　前　六時二五分
日の入　後　六時三八分
月の出　後　七時一四分
月の入　前　八時一八分
きのふの氣溫　最高　一六度五　最低　五度九

義人長七郎（五十）

（禁上演映畫化）中川雨之助　竹枝一郎畫

雨國の易者（五）

「飛んだお門違ひでお氣の毒さま。憚りながら、そんなお銀ぢやありません、出鱈目もいゝかげんにしてお呉れ」

群衆は、聲を合はせ、ドツと笑ひました。その嘲笑の的にされて儀吉は、もうたまらなくなりました。

「ソレ、御用の邪魔をさらす、素浪人、こいつからやつちまへッ」

無擂聲を振りしぼつて、手先たちに命令しました。

手先二人は、親分の大事とみて市松を捨てゝ、長七郎に迫りました。

さつきから、溶侍に息を吹きかけて待ち構へてゐた鳥居孫兵衛です。

「エイツ、無禮者ー」

繰り出て、長七郎殿の前に、立ち塞がつたかと思ふと、蝶鉄のやうな擲り拳が、たちまち手先の横面に飛びました。

「わッ」と、悲鳴もろとも、打ツ離れた手先は、頸を押へたまゝ、起き上る勇氣はありません。

いま一人の手先の打つてかゝるのを、やり過ごして、後ろからその襟際を攫むと、孫兵衛得意の强力。そいつを輕々と吊し上げ二つ三つ獨樂のやうに振り廻し、はずみを付けて置いて、群衆を目がけて、ブーンと投げ飛ばした。

「ソラ來た」

「やつちめえ」

群衆は大喜び。寄つてたかつて踏むやら蹴るやら大騒ぎです。可哀さうに手先は、たう〳〵滅茶〳〵に伸ばされてしまひました。

その間に、儀吉は、長七郎に十手を叩き落され、手も足も出せなくされてしまひました。

「痴け者奴、この御方を、どなたと心得居る。松平長七郎君におはすぞツ」と、孫兵衛が、叱りつけました。

「あツ」

驚いた儀吉、振り上げた十手を慌てゝ引込めた。「しまつたー」と思ふと、急に膝頭の力が抜けて、ベタ〳〵と大地へうづくまつてしまひました。

「築地の若殿さま……」

「あれが長七郎さまだ……」

見物も驚きました。中には、關り合になつてはいけないと心配して、早々歸つて行く者もあります。

儀吉は、既に蟲です。

「尊い御方とも存じませず、何とも早や、申譯ございません」

額を土に擦りつけて、お詫を申上げるのです。お銀は口説き廻つてゐることが、チヤンと長七郎殿に知れてゐたのには驚いてしまつたのです。

どんなお咎めがあることか、それを思ふと生きた心地もありません。全身冷汗ビッショリです。

が、それから間もなく、儀吉は許されて、手先とも〴〵這々の體で逃げて行きました。見物も散りました。

すると、少し離れた河岸の柳の蔭に、さいぜんから一人の編笠の武士が立つてゐて、ひそかに長七郎の態度を注意してゐるのでした。

すると又、其處から少し離れて、その武士の様子を、疑はしげに、視守つてゐる者があります。

それが、誰かといふと、さいぜんの易者の老人なのです。

老人は、今のドサクサで、店を畳んでしまつて、商賣道具の易書算木はふところに、筮竹の袋を腰に差し、畳んだ机を一ト括げにして、それを小脇に抱へながら、ヂツと油斷の眼を、件の武士に向けてゐるのです。

長七郎等は、それを知りません。